

審査意見への対応を記載した書類（7月）

（是正事項） 保健医療学研究科救急災害医療学専攻（D） （博士課程）

1. <人材養成像、ディプロマ・ポリシー、専攻名称の妥当性が不明確>
設置の趣旨や人材養成像の説明において、「スポーツ現場における救急医療」に対応するとあるが、専攻名称やディプロマ・ポリシーがこれを踏まえたものとなっているか不明確なため、人材養成像、ディプロマ・ポリシー、専攻名称の整合性について明確に説明するか、適切に改めること。また、ディプロマ・ポリシーに関係して以下についても適切に対応すること。

（1）本専攻では修士課程とは異なり、救急災害医療領域における「臨床・教育研究を遂行する能力」を養成するとあるが、具体的にどのような能力か不明確なため、ディプロマ・ポリシーとの対応状況も示して明確に説明すること。

（2）ディプロマ・ポリシーの「ア」において、「独創的な研究を計画・遂行」とあるが、具体的にどのような研究か不明確であるとともに、「イ」においては「客観的な評価」とあるが、具体的にどのような評価を行うか不明確なため、これらについて明確に説明するとともに、必要に応じてディプロマ・ポリシーを修正すること。

<人材養成像、ディプロマ・ポリシー、専攻名称の妥当性が不明確>

（対応）

「スポーツ現場における救急医療」に関する記述を削除し、「救急災害医療の指導者としての資質を基礎として、救急災害医療の臨床現場や教育研究者の養成を目的とし、臨床または教育現場で、科学的根拠に基づき自立した研究が遂行できる人材育成を目標とする。」に改めた。

（理由）

是正事項の通り、スポーツ現場における救急医療に関して、専攻名称やディプロマ・ポリシーと合致しないため「スポーツ現場における救急医療」に関する記述を削除した。スポーツにおけるオリンピックやスポーツイベントはマスギャザリングに該当し、災害医療分野で重要な研究分野である。ディプロマ・ポリシー及び専攻名称のとおり、本専攻は救急災害医療の臨床現場や教育研究者養成を根幹の目的としており、スポーツ救急分野における知識や研究能力の養成は、災害医療分野に位置付けている。スポーツ救急分野科目は「スポーツ救急特講」の1科目のみとし、且つ選択科目とした。

（1）「臨床・教育研究を遂行する能力」を養成するとあるが、具体的にどのような能力か不明確

（対応）

「臨床・教育研究を遂行する能力」を、「実際の臨床・教育現場で遭遇する種々の事象や病態について解明し、科学的根拠に基づいて自立した教育研究を遂行できる能力」に改めた。

是正事項にある「具体的な能力」を明確にするため、「事象や病態について解明する能力」と「自立した教育研究を遂行できる能力」と具体的な能力を提示する表現にした。

（補足説明）

是正事項の通り、臨床・教育研究を遂行する能力が抽象的なため、「自立」という文言を追記した。修士課程の「指導者の養成」とは異なり、博士課程では「研究者の養成」を行う。臨床・教育分野で自ら研究計画を立て、自ら実行する必要がある。ディプロマ・ポリシーの「ア」最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、自立した研究活動を行う能力」と対応させた。

（2）ディプロマ・ポリシーの「ア」。「独創的な研究を計画・遂行」が具体的にどのような研究か不明確

（対応）

ディプロマ・ポリシーの「ア.最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、独創的な研究を計画・遂行することができる」を「ア.最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、自立した研究活動を行う能力」に改めた。

独創的な研究であるか、または独創的な研究が行える能力を評価するためには、研究内容の必要である。ディプロマ・ポリシーは、修得する能力を具体的に明示する必要があり、研究を計画し遂行することを自ら主体的に行うために必要な能力、「自立した研究活動を行う能力」に変更した。

（補足説明）

是正事項の通り「独創的な研究」が抽象的な表現のため、「自立」という文言に変更した。救急災害医療分野で世界をリードするためには、自らの考えやひらめきによって生み出す研究が必要と考えた。博士課程のディプロマ・ポリシーや人材養成像は、救急災害医療分野の研究

者養成であり、まず研究者として自ら計画立案遂行できる能力が必要である。したがって、博士課程のディプロマ・ポリシーは「自立した研究活動を行う能力」に修正した。

(2) ディプロマ・ポリシーのイ. においては「客観的な評価」とあるが、具体的にどのような評価を行うか不明確

(対応)

「イ. 国際的な視野と高い倫理観を有し、客観的に評価することができる」を「イ. 国際的な視野と高い倫理観を有し、社会の発展に貢献できる能力」に改めた。

「客観的な評価」ができるかは、「客観的な評価」とは何かを定義する必要がある。「客観的な評価」とは、論文読解能力としていたが、ディプロマ・ポリシー変更による「自立した研究活動を行う能力」に含まれ、そのため「客観的な評価」を削除した。

大学や大学院の使命として、教育・研究・研究成果の社会還元がある。救急災害医療学専攻では、「研究成果を社会に生かす」という視点で研究を行う能力を養成する。そのため、国際的な視点や、文化や慣習を尊重するなどの倫理的配慮ができ、専門分野の研究手法を実践できる能力、つまり「社会の発展に貢献できる能力」をディプロマ・ポリシーに追記した。

(補足説明)

是正事項の通り、「客観的な評価」が抽象的である。「客観的な評価」とは科学的根拠を基に論文読解ができる能力を想定した。しかし、論文読解能力は上述の「ア. 自立した研究活動を行う能力」に含まれるため削除し、諸外国との比較ができるという国際的な視点と、研究倫理を身に付け、専門的な研究手法が実践できる能力を「社会の発展に貢献できる能力」とし、ディプロマ・ポリシーに追記した。

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」本文

新	旧
<p>(4)教育目的・目標 従って、救急災害医療学専攻は、救急災害医療の指導者としての資質を基礎として、<u>救急災害医療の臨床現場や教育研究者の養成を目的とし、臨床または教育現場で、科学的根拠に基づき自立した研究が遂行できる人材育成を目標とする。</u></p>	<p>(4)教育目的・目標 従って、救急災害医療学専攻は、救急災害医療の指導者としての資質を基礎として、<u>スポーツ救急や災害現場などの臨床現場や教育研究者の養成を目的とし、臨床または教育現場で、科学的根拠に基づき(追記)研究が遂行できる人材育成を目標とする。</u></p>

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」本文

新	旧
<p>イ. 災害医療の現状 テロに対する被害も拡大している。平成13(2001)年の米同時多発攻撃以降の過去10年間で、4倍以上のテロが発生し、日本人が被害に巻き込まれる事案も起きている。スポーツイベントがテロの対象となりうる。平成25(2013)年では米国ボストンにて開催されたマラソンのゴール付近で2度の爆発が起き、3名が死亡し282名が負傷するテロが起こった。 <u>このようにスタッフや観客を対象としたマスギャザリングに対する救急災害医療体制が求められている。日本で行われた2002年FIFAワールドカップ大会では、医療救護班として4か所の救護室に配備し、各区分に救護班員を15名と集団災害対応医療班、ヘリ搬送医療班、ドクターカー医療班を配置した。しかし、2010年から2011年に日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のホームスタジアムを対象に行われたアンケートでは、全てのスタジアムで防災マニュアルが整備され救護室が設置されていたが、災害発生時に備えてトリアージポストを設置しているスタジアムは2割以下であった。マラソン大会や</u></p>	<p>ウ. 災害医療の現状 テロに対する被害も拡大している。平成 13(2001)年の米同時多発攻撃以降の過去 10 年間で、4 倍以上のテロが発生し、日本人が被害に巻き込まれる事案も起きている。スポーツイベントがテロの対象となりうる。平成 25(2013)年では米国ボストンにて開催されたマラソンのゴール付近で 2 度の爆発が起き、3 名が死亡し 282 名が負傷するテロが起こった。 (追記)</p>

<p>野球場などでは、救護所や医療チームの配置はされているが、災害医療体制の構築やマニュアルの整備は大会や球場で異なり、温度差が大きかったと報告されている。</p> <p>このようなマスコギザリング対応は、救急医療ではなく災害医療であり、その切り替えが必要である。</p>	<p>このような多数傷病者対応は、救急医療ではなく災害医療であり、その切り替えが必要である。</p>
--	--

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」 本文

新	旧
<p>2 保健医療学研究科博士課程の構想・教育目標</p> <p>(2) 専攻の概要</p> <p>「救急災害医療学専攻」は、臨床・教育現場で、科学的根拠に基づき自立して研究が遂行できる人材を育成する。</p> <p>臨床は、EDMS におけるスポーツ救急の実践や災害医療システム構築、学部・学科の実習先である初期・2次救急病院や救命救急センター、消防機関などで演習し、臨床研究方法を修得する。また、災害発生時には、市区町村や災害医療派遣チーム(DMAT: Disaster Medical Assistance Team)や、医師会と連携し、災害医療の実践やロジスティクス(後方支援)の研究を実践する。</p> <p>教育は、反転授業やシミュレーション教育において、知識・技術・行動変容の視点で研究を実践する。また、救命蘇生法の講習会やマラソン大会などのイベント救護でスポーツ関係者、地域住民に救急・災害医療の講習会を行いその教育効果について研究する。</p> <p>研究遂行能力として、特別研究を通じて、研究計画の作成、文献検索、倫理審査、研究の実行、結果の集積と分析、統計学的検定、考察、結論を検証し、国際ジャーナルに掲載される論文を記載できる能力を修得する。本専攻における概要は、臨床・教育を通じて科学的根拠に基づき自立して研究が遂行できる人材の育成とする。</p>	<p>2 保健医療学研究科博士課程の構想・教育目標</p> <p>(2) 専攻の概要</p> <p>「救急災害医療学専攻」は、臨床・教育現場で、科学的根拠に基づき(追記)研究が遂行できる人材を育成する。</p> <p>臨床は、EDMS におけるスポーツ救急の実践や災害医療システム構築、学部・学科の実習先である初期・2次救急病院や救命救急センター、消防機関などで演習し、臨床研究方法を修得する。また、災害発生時には、市区町村や災害医療派遣チーム(DMAT: Disaster Medical Assistance Team)や、医師会と連携し、災害医療の実践やロジスティクス(後方支援)の研究を実践する。</p> <p>教育は、反転授業やシミュレーション教育において、知識・技術・行動変容の視点で研究を実践する。また、救命蘇生法の講習会やマラソン大会などのイベント救護でスポーツ関係者、地域住民に救急・災害医療の講習会を行いその教育効果について研究する。</p> <p>研究遂行能力として、特別研究を通じて、研究計画の作成、文献検索、倫理審査、研究の実行、結果の集積と分析、統計学的検定、考察、結論を検証し、国際ジャーナルに掲載される論文を記載できる能力を修得する。本専攻における概要は、臨床・教育を通じて科学的根拠に基づき(追記)研究が遂行できる人材の育成とする。</p>

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」 本文

新	旧
<p>2 保健医療学研究科博士課程の構想・教育目標</p> <p>(3) 専攻の構想</p> <p>救急災害医療学専攻は後期 3 年の博士課程として設置する。学部教育としての保健医療学部救急医療学科を基盤とし、保健医療学研究科保健医療学専攻救急災害医療学コースを土台とする。この救急災害医療学コースは修士課程として開設したが、このまま修士課程とし、博士前期課程に改めない。この理由は次の通りである。</p> <p>修士課程の『救急災害医療学コース』は、「総合的な医療人育成」、「大規模災害に対応できる人材育成」、「海外で活躍できる人材育成」を柱とした。これに対し、博士課程の『救急災害医療学専攻』は、救急救命士の特性を活かし、疾病や外傷の病態だけでなく、救急救命処置を含むすべての救急災害医療に着眼し、<u>実際の臨床・教育現場</u>で遭遇する種々の事象や病態について解明し、</p>	<p>2 保健医療学研究科博士課程の構想・教育目標</p> <p>(3) 専攻の構想</p> <p>救急災害医療学専攻は後期 3 年の博士課程として設置する。学部教育としての保健医療学部救急医療学科を基盤とし、保健医療学研究科保健医療学専攻救急災害医療学コースを土台とする。この救急災害医療学コースは修士課程として開設したが、このまま修士課程とし、博士前期課程に改めない。この理由は次の通りである。</p> <p>修士課程の『救急災害医療学コース』は、「総合的な医療人育成」、「大規模災害に対応できる人材育成」、「海外で活躍できる人材育成」を柱とした。これに対し、博士課程の『救急災害医療学専攻』は、救急救命士の特性を活かし、疾病や外傷の病態だけでなく、救急救命処置を含むすべての救急災害医療に着眼し、<u>(追記)臨床・教育現場で(追記)研究</u>を遂行できる能力を養成することが目的で</p>

<p>科学的根拠に基づいての自立した教育研究を遂行できる能力を養成することが目的である。すなわち、修士課程では、指導者としての資質を備えた救急救命士の養成を、博士課程では、救急災害医療領域における臨床・教育研究を<u>自立し、より専門的に遂行できる能力と、将来その研究分野の指導者となる資質の養成を構想としている。</u></p>	<p>ある。すなわち、修士課程では、指導者としての資質を備えた救急救命士の養成を、博士課程では、救急災害医療領域における臨床・教育研究を<u>遂行する能力と、将来その研究分野の指導者となる資質の養成を構想としている。</u></p>
---	--

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」本文

新	旧
<p>(8)ディプロマ・ポリシー ①概要 本専攻(博士課程)では、<u>次の資質・能力を身に付けるとともに、修了要件をすべて満たした者に対し、博士(救急災害医療学)の学位を授与する。</u></p> <p>②救急災害医療学専攻 ア. 最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、<u>自立して研究活動を行う能力</u></p> <p>イ. 国際的な視野と高い倫理観を有し、<u>社会の発展に貢献できる能力。</u></p> <p>ウ. 救急災害医療に携わる医療人としてのプロフェッショナル・オートミーを有し、<u>研究成果を国内外に向けて発信する能力。</u></p>	<p>(8)ディプロマ・ポリシー ①概要 本専攻(博士課程)では、<u>本学の教育理念に基づき、以下の人材育成を目的としている。</u></p> <p>②救急災害医療学専攻 ア. 最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、<u>独創的な研究を計画・遂行することができる。</u></p> <p>イ. 国際的な視野と高い倫理観を有し、<u>客観的に評価することができる。</u></p> <p>ウ. 救急災害医療に携わる医療人としてのプロフェッショナル・オートミーを有し、<u>研究成果を国内外に向けて発信することができる。</u></p>

(是正事項) 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (D) (博士課程)

2. <学生確保の見通しが不明確>

学生確保の見通しにおける受験対象者へのアンケート結果について、多くは消防機関の者であるが、「受験対象者」の具体的な選定方法が不明確であるとともに、「受験対象者」が本学の人材養成像やアドミッション・ポリシーに対応した者であるか不明確なため、これらを明確にした上で学生確保の見通しの妥当性を改めて説明すること。

(対応)

救急救命士資格を有し、本専攻のアドミッション・ポリシーに対応する者をアンケート対象者に選定した。アンケートに回答した「受験対象者」とは、平成 31 年 1 月 24 日 (木)、1 月 25 日 (金) に開催された第 27 回全国救急隊員シンポジウム参加者 (消防関係者等) である。アンケート結果から、救急災害医療学の研究や研究者に対するニーズがあることが明確となった。

さらに、下記のアドミッション・ポリシーに対応した、日本体育大学保健医療学部に所属する教員 (救急救命士資格を有する修士取得者) 及び日本体育大学大学院保健医療学研究科救急災害医療学コース生 (救急救命士資格を有する修士取得見込み者) 計 11 名を対象とし、追加アンケートを実施した。

アドミッション・ポリシー

本専攻は、救急災害医療分野における極めて高度な専門性を備えた人材の育成を目指す。以下のような資質を備えた入学者を求める。

- ア. 最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、自ら研究課題に取り組む意欲がある者。
- イ. 救急災害医療学における専門知識・技能・問題解決能力を有する者。
- ウ. 臨床現場における技術指導者や研究手法の指導者になりたいと強く志望すること。
- エ. 国際的な視点を持ち、優れたプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有する者。

追加アンケートの結果、11 名中 5 名 (約 45%) が「進学を希望する」、6 名 (約 55%) が「進路先の一つとして考える」と回答しており、入学定員に対して、十分に学生を確保できる見込みがあると考えている。

また、11 名中 7 名 (約 64%) は平日夜間での通学を希望している。本専攻は大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例により、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う予定であることから、これらのニーズにも応え得る。

(新旧対照表) 学生確保の見通し等を記載した書類 1 頁

新	旧
<p>(1) 定員充足の見込み 以下に述べる受験対象者を対象としたアンケート調査結果資料 1 資料 2 資料 3 及び本専攻における研究指導體制を勘案し、入学定員を 2 名に設定した。</p> <p><u>全国救急隊員シンポジウム参加者 (消防関係者等) を対象にアンケート調査を行った。回答者 84 名中 19 名 (23%) が「本研究科への進学を希望する」、28 名 (33%) が「本研究科を進路先の候補の 1 つとして考える」と回答しており、救急災害医療の研究者に対するニーズがあることが明確となった。また、救急救命士を有する大学院生と修士取得者に対するアンケートを行った。回答者 11 名中 5 名 (45%) が「本研究科への進学を希望する」、6 名 (55%) が「本研究科を進路先の候補の 1 つとして考える」と回答したことから、十分に学生を確保できる見通しがあると判断する。</u></p>	<p>(1) 定員充足の見込み 以下に述べる受験対象者を対象としたアンケート調査結果資料 1 資料 2 (追記) 及び本専攻における研究指導體制を勘案し、入学定員を 2 名に設定した。</p> <p>(追記) 回答者 84 名中 19 名 (23%) が「本研究科への進学を希望する」、28 名 (33%) が「本研究科を進路先の候補の 1 つとして考える」と回答しており、(追記) 十分に学生を確保できる見通しがあると判断する。</p>
<p>(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 ① 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (仮</p>	<p>(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 ① 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (仮</p>

<p>称)設置に関わるアンケート 平成 31 年 1 月下旬に<u>全国救急隊員シンポジウム参加者(消防関係者等)</u>84 名を対象とし、専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式計 4 問)を行った。<u>資料 1 資料 2</u> また、令和元年 6 月上旬に日本体育大学保健医療学部¹に所属する教員(救急救命士資格を有する修士取得者)及び日本体育大学大学院保健医療学研究科救急災害医療学コース生(救急救命士資格を有する修士取得見込み者)計 11 名を対象とし、同様のアンケートを行った。<u>資料 3</u> ② 基礎となる学部等の定員充足の状況 保健医療学部救急医療学科及び保健医療学専攻の定員充足の状況を集計した。ともに安定して定員を充足している。<u>資料 4</u></p> <p>(3)学生納付金の設定の考え方 また、同系専攻を設置する大学院の学生納付金を参考とし、教育の質の維持と他大学院とのバランスを考慮して以下の通り決定した。<u>資料 5</u></p>	<p>称)設置に関わるアンケート 平成 31 年 1 月下旬に本専攻の受験対象者 84 名を対象とし、専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式計 4 問)を行った。<u>資料 1 資料 2</u></p> <p>(追記)</p> <p>② 基礎となる学部等の定員充足の状況 保健医療学部救急医療学科及び保健医療学専攻の定員充足の状況を集計した。ともに安定して定員を充足している。<u>資料 3</u></p> <p>(3)学生納付金の設定の考え方 また、同系専攻を設置する大学院の学生納付金を参考とし、教育の質の維持と他大学院とのバランスを考慮して以下の通り決定した。<u>資料 4</u></p>
---	---

(新旧対照表) 学生確保の見通し等を記載した書類 (資料)

新	旧
<p>学生確保の見通し等を記載した書類(資料) 資料 2 保健医療学研究科救急災害医療学専攻(仮称)設置に関わるアンケート集計表①</p> <p>◆調査方法 研究科・専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式)を行った。</p> <p>◆調査対象 受験対象者 84 名(<u>全国救急隊シンポジウム参加者(消防関係者等)</u>)</p> <p>◆調査内容 選択肢式計 4 問の質問</p> <p>◆調査時期 平成 31 年 1 月下旬</p> <p>資料 3:<u>保健医療学研究科救急災害医療学専攻(仮称)設置に関わるアンケート結果集計表②</u></p> <p>資料 4:<u>保健医療学研究科保健医療学専攻及び保健医療学部救急医療学科の入試状況</u></p> <p>資料 5:<u>競合校との学生納付金比較</u></p>	<p>学生確保の見通し等を記載した書類(資料) 資料 2 保健医療学研究科救急災害医療学専攻(仮称)設置に関わるアンケート集計表(追記)</p> <p>◆調査方法 研究科・専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式)を行った。</p> <p>◆調査対象 受験対象者 84 名(<u>追記</u>)</p> <p>◆調査内容 選択肢式計 4 問の質問</p> <p>◆調査時期 平成 31 年 1 月下旬</p> <p>資料 3:<u>(追加)</u></p> <p>資料 3:<u>保健医療学研究科保健医療学専攻及び保健医療学部救急医療学科の入試状況</u></p> <p>資料 4:<u>競合校との学生納付金比較</u></p>

(追加資料) 学生確保の見通し等を記載した書類 (資料 3)

保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (仮称)
設置に関わるアンケート結果集計表②

◆調査方法

研究科・専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式)を行った。

◆調査対象 日本体育大学保健医療学部 に所属する教員 (救急救命士資格を有する修士取得者) 及び日本体育大学大学院保健医療学研究科救急災害医療学コース生 (救急救命士資格を有する修士取得見込み者) 計11名

◆調査内容 選択肢式計4問の質問

◆調査時期 令和元年6月上旬

問 1. 所属先に該当するものを選んでください。

所属先	人数	割合
消防機関	1名	9%
一般企業	1名	9%
教育機関 (大学)	9名	82%

性別	人数	割合
女性	1名	9%
男性	10名	91%

問 2. 条件が整えば、本専攻へ進学したいと思いますか。

進学希望	人数	割合
進学を希望する	5名	45%
進学先の候補の一つとして考える	6名	55%
進学を希望しない	0名	0%

【問 2 で「進学を希望する」「進路先の候補の一つとして考える」と回答した11名への設問】

問 3. あなたが大学院で学ぶ目的は何ですか? (複数選択可)

目的	人数	割合
学位の取得	11名	100%
研究能力や知識の向上	11名	100%
臨床経験を積む	4名	36%
大学教員や他の院生とのネットワークづくり	8名	73%
管理職などへのキャリア形成	8名	73%
国際経験を積む	9名	82%

その他: 「研究」、「高い向上力」

【問 2 で「進学を希望する」「進路先の候補の一つとして考える」と回答した11名への設問】

問 4. あなたが大学院に通う場合、どのような時間帯を希望しますか。 (単一選択)

時間帯	人数	割合
平日昼間	1名	9%
平日夜間	7名	64%
週末昼間	1名	9%
週末夜間	1名	9%
その他 (柔軟な対応)	1名	9%

(是正事項) 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (D) (博士課程)

<p>3. <教育課程の内容が不明確> 教育課程全般について、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの対応状況が不明確であり、適切な教育課程となっているか疑義があるため、これらの対応状況を踏まえたカリキュラムマップ等を示して、教育課程の妥当性について明確に説明すること。あわせて、シラバスにおける具体的な教育課程の内容についても全般的に不明確なため、以下のとおり適切に対応すること。</p> <p>(1) 全般的に、各科目における授業概要や到達目標が不明確なため、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに対応した内容となっているかも踏まえて具体的に記載するよう是正すること。</p> <p>(2) 全般的に、各科目における講義計画の各回の詳細な授業内容が不明確なため、各回の具体的な授業内容を記載した上で、博士課程としてふさわしい授業内容となっているかを明確に説明すること。</p> <p>(3) 「スポーツ救急特講」について、授業内容が初歩的と見受けられるとともに、体系的な学習構成となっているか疑義があるため、博士課程としてふさわしい授業内容であるかも踏まえて本科目の設定の妥当性について明確に説明するか、授業内容を適切に改めること。</p> <p>(4) 「国際救急・災害システム演習」について、国内外の被災地、災害対策室及び病院等を訪問するとあるが、具体的な訪問先が不明確なため、詳細を示した上で、訪問先としての妥当性を明確に説明すること。</p> <p>(5) 特別演習科目と特別研究科目について、授業内容が同様の内容と見受けられるため、特に特別研究科目は研究指導科目である点にも鑑み、特別研究科目ごとに演習科目との違いを明確に説明するとともに、研究指導科目としてふさわしい内容であることを明確に説明するか、授業内容を適切に改めること。</p>

教育課程全般について、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの対応状況が不明確であり、適切な教育課程となっているか疑義があるため、これらの対応状況を踏まえたカリキュラムマップ等を示して、教育課程の妥当性について明確に説明すること。

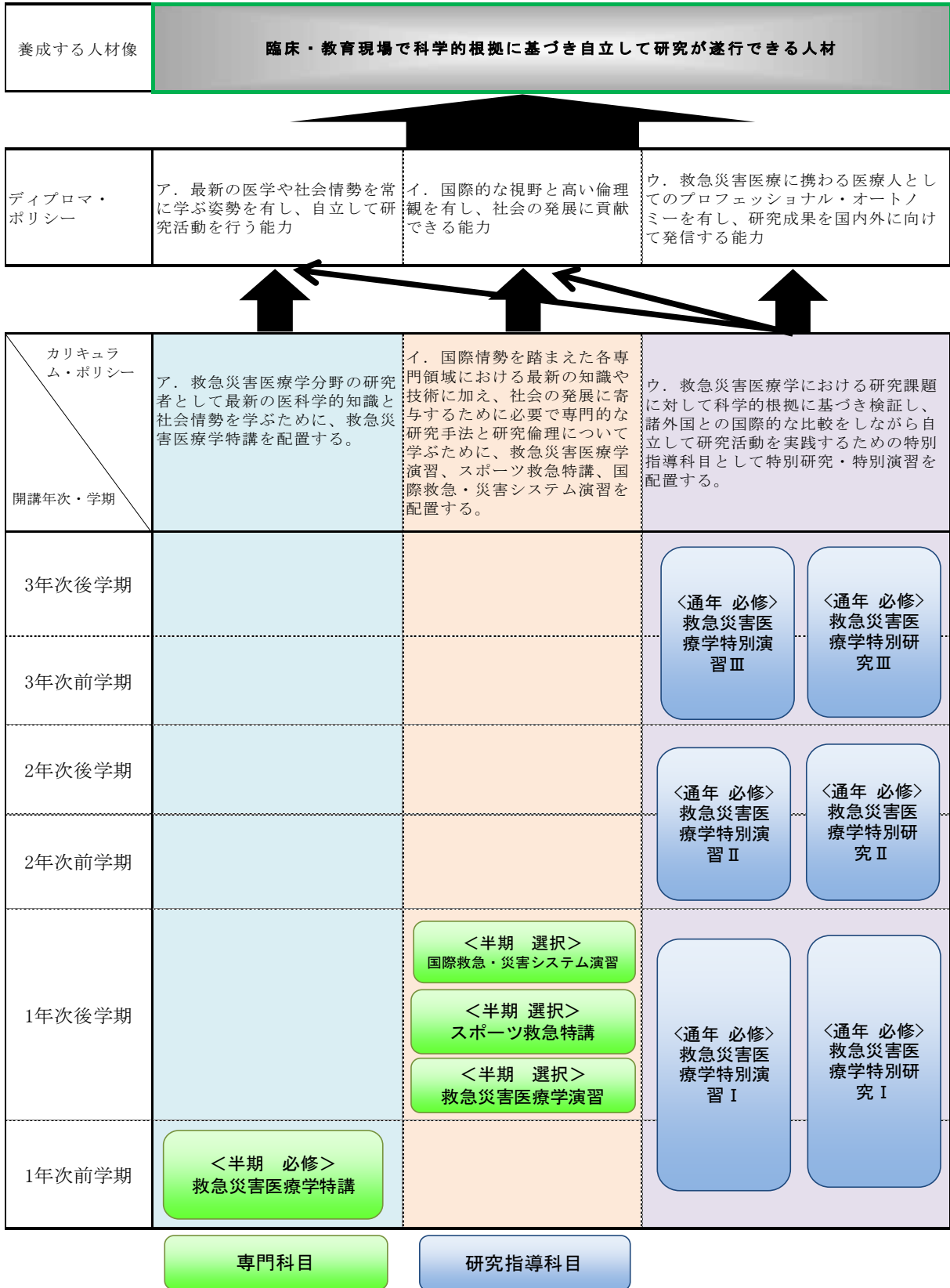
(対応)

- ①カリキュラムマップを作成し、授業科目とディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの関連性を示した。
- ②是正事項1に伴い修正したディプロマ・ポリシーに対応した内容とするため、カリキュラム・ポリシーのイ・ウを次のとおり修正した。

修正前	イ. 救急災害医療学に関する研究者として、最新の医科学的知識と技術を発展させる科目を配置する。
修正後	イ. 国際情勢を踏まえた各専門領域における最新の知識や技術に加え、社会の発展に寄与するために必要で専門的な研究手法と研究倫理について学ぶために、救急災害医療学演習、スポーツ救急特講、国際救急・災害システム演習を配置する。

修正前	ウ. 救急災害医療学分野における研究課題に対して科学的根拠に基づき検証し、国際的な比較をしながら独創的な研究手法および論文作成能力を実践するための特別指導科目として特別研究・特別演習を配置する。
修正後	ウ. 救急災害医療学における研究課題に対して科学的根拠に基づき検証し、諸外国との国際的な比較をしながら自立して研究活動を実践するための特別指導科目として特別研究・特別演習を配置する。

救急災害医療学専攻の開講科目と養成する人材像、 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとの関連図



【修了要件】

専門科目から必修を含む4単位以上、特別指導科目から24単位以上を習得し、合計28単位以上を修得すること。かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

(1) 全般的に、各科目における授業概要や到達目標が不明確

(対応)

「救急災害医療学演習」、「スポーツ救急特講」、「国際救急・災害システム演習」は博士課程における研究分野の中心となるため、諸外国との比較をするために必要な国際情勢を学び、専門的な研究手法と研究倫理を学ぶことを強調し、シラバスの授業概要や到達目標を修正した。

(2) 全般的に、各科目における講義計画の各回の詳細な授業内容が不明確

(対応)

①救急災害医療学特講：災害医学3に関東大震災、災害医学4に阪神淡路大震災、災害医学5に東日本大震災、災害医学6に近年と具体的に記載した。

②救急災害医療学演習：災害医学(1-6回)で訪問する場所や対象とする災害(東日本大震災など)を明確にした。救急医学(基礎)(1-3回)で訪問する場所を基礎研究施設とした。救急医学(1-5回)で訪問先や実習先を具体的に明記した(東京都または政令指定都市や救命センターなど)。救急医学6で研究方法と研究倫理についてディスカッションする内容とした。

(補足説明)

是正事項の通り、授業内容が抽象的であった。また、一部博士課程としてふさわしくない授業内容となっていたため、具体的に対象としている災害や訪問場所を明記した。また、カリキュラム・ポリシー変更に伴い、研究方法や研究倫理についてまとめた内容を追記した。

(3) 「スポーツ救急特講」の授業内容が初歩的で、体系的な学習構成となっているか疑義がある

(対応)

講義概要・目標を修正し、「最新の原著論文を精読・議論する」という文言を追記した。また、カリキュラム・ポリシー変更に伴い、「最先端のスポーツ救急分野の研究手法や倫理的配慮などの研究能力を身に付ける」とした。

授業内容が、原著論文を精読・論議する内容となり、各種スポーツを取り巻く環境であるオリンピックにおける医療体制や、スポーツマスギャザリングイベントにおける対応に関する論文と過去の事例について配置した。

各種スポーツや臓器別の高度な専門知識を学ぶため、原著論文の精読・論議を行う内容に変更した。また、授業の後半にオリンピックやスポーツマスギャザリングイベントを追加した。各種スポーツや臓器別の高度な専門知識は、それぞれの最先端の研究成果である原著論文の精読・論議を通して学び、そこで得られた知識を統合し、オリンピックやスポーツマスギャザリングイベントを学ぶ。オリンピックやスポーツマスギャザリングイベントでは、テロ行為による外傷だけでなく、インフルエンザなどの公衆衛生まで幅広い専門知識が必要となり、また、選手やスタッフだけでなく、観客などが対象となり、多人数かつ多岐にわたる傷病への対応が求められる。博士課程の授業として相応しい内容にするため、各種スポーツや臓器別の高度な専門知識を学び、そこで得た知識を踏まえ幅広い知識が必要となり、そのことがオリンピックにおける医療体制やスポーツマスギャザリングイベントに必要であり、授業内容に加えるよう修正した。

(補足説明)

是正事項の通り、授業内容が初歩的かつ体系的な学習構成となっていないため、講義概要・目標を大幅に修正した。

また、原著論文を精読・議論することや、各種スポーツを取り巻く環境であるオリンピックにおける医療体制やスポーツマスギャザリングイベントについて配置することで、博士課程としてふさわしい授業内容に修正した。

「スポーツ救急特講」シラバス（授業内容変更後）

科目	スポーツ救急特講	担当	オムニバス方式/共同(一部) 平沼 憲治、舟橋 厚、 中里 浩一、遠藤 直哉、 鴻崎 香里奈	90分×15回	1年	後期・集中
					選択	2単位
講義概要・目標						
<p>スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてスポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論することで、(2)最先端のスポーツ救急分野における研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けることにある。</p> <p>(オムニバス形式/全15回)。 (1 平沼 憲治/3回) マスギャザリング対応に関する論文と過去の事例について精読・議論する (2 舟橋 厚/2回) 発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する臨床スポーツ臨床医学分野の原著論文を精読・議論する。 (7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論する。 (10 遠藤 直哉/3回) 内科的疾患とオリンピックにおける医療体制に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論する。 (1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) 臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする</p>						
履修注意						
原著論文を題材に詳細な議論が展開されるので、講義担当者より配布される原著論文を精読しておくこと。						
評価方法						
ディスカッション、課題レポートで評価する。						
講義計画・内容						
回	項目	内容			担当	
1	循環器、血管系	血管・循環器系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について			中里・鴻崎	
2	呼吸器系	呼吸器におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について			中里・鴻崎	
3	消化器系・内分泌代謝系	消化器(肝臓、胆嚢、膵臓等)におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について			中里・鴻崎	
4	脳・神経系	脳・神経系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について			中里・鴻崎	
5	筋肉系	骨格筋におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について			中里・鴻崎	
6	骨・関節系	骨・関節におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について			中里・鴻崎	
7	障害者スポーツ1	臨床スポーツ医学分野における自閉症・自閉スペクトラム障害に関する原著論文について			舟橋	
8	障害者スポーツ2	臨床スポーツ医学分野における知的障害に関する原著論文について			舟橋	
9	スポーツ心臓・突然死	臨床スポーツ医学分野における肥大型心筋症、心臓振とう等に関する原著論文について			遠藤	
10	熱中症	臨床スポーツ医学分野における熱中症の予防・救急処置等に関する原著論文について			遠藤	
11	オリンピックにおける医療体制	各種スポーツを取り巻く環境であるオリンピックにおける医療体制に関する論文と過去の事例について			遠藤	
12	スポーツマスギャザリングイベント対応1	スポーツ現場におけるマスギャザリング対応に関する論文と過去の事例について			平沼	
13	スポーツマスギャザリングイベント対応2	スポーツ現場におけるファーストレスポンスシステムに関する論文と過去の事例について			平沼	
14	スポーツマスギャザリングイベント対応3	スポーツ現場におけるテロ対策に関する論文と過去の事例について			平沼	
15	まとめ	臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッション			平沼・遠藤	
教科書・参考書						
特になし。						

(4) 「国際救急・災害システム演習」の具体的な訪問先が不明確

(対応)

訪問先を「米国連邦危機管理事態管理庁」、「米国運輸省」、「米国シアトル」と明確にした。

上記訪問先にした理由を社会的背景に追記した。

(補足説明)

米国連邦危機管理事態管理庁は災害対応の専門的施設であり、米国運輸省は米国の病院前救急システムの管轄機関、米国シアトルは世界一の蘇生率であることと、本学大学院生や学部学生が交流をしているため、実現可能であり具体的な訪問先として明記した。

(5) 特別演習科目と特別研究科目について、授業内容が同様の内容

(対応)

特別演習科目は、学位論文、専門書及び文献の読み込みや指導教員との討議を通して、研究テーマに関する理解を深めるとともに問題点を探り、研究を遂行する上での知識・研究手法を習得するための科目と位置付けた。

特別研究科目は、特別演習科目での学修を基礎とし、調査・研究を行い、論文作成・発表を行う科目と位置付けた。

各指導教員の専門分野に特化した内容に修正した。

(補足説明)

是正事項の通り、特別演習科目と特別研究科目の違いが明確でなく、また指導教員の専門分野に沿った内容であることが明確でなかったため、特別研究科目ごとに演習科目との違いを明確にし、授業内容を修正した。

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」本文

新	旧
<p>4 教育課程の編成の考え方及び特色 (1)カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)</p> <p>②救急災害医療学専攻 ア. <u>救急災害医療学分野の研究者として最新の医科学的知識と社会情勢を学ぶために、救急災害医療学特講を配置する。</u> イ. <u>国際情勢を踏まえた各専門領域における最新の知識や技術に加え、社会の発展に寄与するために必要で専門的な研究手法と研究倫理について学ぶために、救急災害医療学演習、スポーツ救急特講、国際救急・災害システム演習を配置する。</u> ウ. <u>救急災害医療学における研究課題に対して科学的根拠に基づき検証し、諸外国との国際的な比較をしながら自立して研究活動を実践するための特別指導科目として特別研究・特別演習を配置する。</u> 救急災害医療学専攻では、幅広く深い学識の涵養を図り、救急災害医療分野における研究者としての卓越した能力を培うために、本専攻は上述の方針で理論的知識を基礎とし、「新時代の大学院教育」に記載されている課程制大学院制度に沿った教育目標を設定し、臨床・教育現場で<u>自立して研究活動</u>ができる体系的なカリキュラムを編成する。</p>	<p>4 教育課程の編成の考え方及び特色 (1)カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)</p> <p>②救急災害医療学専攻 ア. <u>研究者として習得すべき救急災害医療学に立脚した問題解決能力を養成するために必要な科目を専門科目として配置する。</u> イ. <u>救急災害医療学分野に関する指導者として、最新の医科学的知識と技術を発展させる科目を配置する。</u> ウ. <u>救急災害医療学における研究課題に対して科学的根拠に基づき検証し、(追記)国際的な比較をしながら独創的な研究手法および論文作成能力を実践するための特別指導科目として特別研究・特別演習を配置する。</u> 救急災害医療学専攻では、幅広く深い学識の涵養を図り、救急災害医療分野における研究者としての卓越した能力を培うために、本専攻は上述の方針で理論的知識を基礎とし、「新時代の大学院教育」に記載されている課程制大学院制度に沿った教育目標を設定し、臨床・教育現場で<u>研究遂行能力が修得</u>できる体系的なカリキュラムを編成する。</p>

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」本文及び資料

新	旧
<p>設置の趣旨等を記載した書類7頁</p> <p>4 教育課程の編成の考え方及び特色 (2)教育課程の概要</p>	<p>設置の趣旨等を記載した書類9頁</p> <p>4 教育課程の編成の考え方及び特色 (2)教育課程の概要</p>

<p>救急災害医療学演習における、教育課程の構成は資料2に示し、概要を以下に述べる。</p> <p>設置の趣旨等を記載した書類(資料)</p> <p>資料2: 救急災害医療学専攻 教育課程及びカリキュラムマップ</p>	<p>救急災害医療学演習における、教育課程の構成は資料2に示し、概要を以下に述べる。</p> <p>置の趣旨等を記載した書類(資料)</p> <p>資料2: 救急災害医療学専攻 教育課程(追記)</p>
---	---

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」本文

新	旧
<p>4 教育課程の編成の考え方及び特色 (1)教育課程の概要 ア. 専門科目</p> <p>【救急災害医療学演習】 被災地訪問や臨床施設での演習を通じて、救急災害医療に関する最新の知識・技術を修得する。被災地や臨床施設の現場の視察とディスカッションを通して、研究を実践する能力を向上させる。</p> <p>【スポーツ救急特講】 スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてスポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論することで、(2)最先端のスポーツ救急分野における知識や研究能力を身に着けることにある。</p>	<p>4 教育課程の編成の考え方及び特色 (1)教育課程の概要 ア. 専門科目</p> <p>【救急災害医療学演習】 救急災害医療における疾病・外傷や救急救命処置などに対する研究を計画し実践する。救急災害医療に対する基礎または臨床における研究手法を習得する。</p> <p>【スポーツ救急特講】 スポーツ生理学から、頭部外傷・頸髄損傷などの外傷のメカニズムについて最新の文献を基に知識を深める。また、障害者スポーツの観点から神経発達障害や自閉症スペクトラム障害などの発達障害に対する対応を学び、スポーツ救急分野における研究を計画し実践する。</p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学演習」授業科目の概要

新	旧
<p>(目標・概要) 救急・災害医学に関する最新の知識・技術を習得し、研究活動能力を向上させる。 被災地訪問や臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行う。全15回を集中講義で実施する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(2 小川 理郎(主) 4 横田 裕行/6回) 救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の研究手法と倫理的配慮をまとめ、ディスカッションを行う。</p> <p>(3 山本 保博 11 鈴木 健介/6回) 災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、ディスカッションを行う。</p> <p>(9 後藤 真史奈/3回) 救急医学(基礎)に関する最新の知識・技術を習得する。研究施設で演習を行い、研究手法につい</p>	<p>(目標・概要) 救急・災害医学に関する最新の(追記)技術を習得し、研究を実践する能力を向上させる。(追記)臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察(追記)についてディスカッションを行う。全15回を集中講義で実施する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(2 小川 理郎(主) 4 横田 裕行/6回) 救急医学に関する最新の(追記)技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の技術をまとめ、ディスカッションを行う。</p> <p>(3 山本 保博 11 鈴木 健介/6回) 災害医学に関する最新の(追記)技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の(追記)技術をまとめ、ディスカッションを行う。</p> <p>(9 後藤 真史奈/3回) 救急医学(基礎)に関する最新の(追記)技術を習得する。研究施設で演習を行い、研究手法につい</p>

てディスカッションを行う。	てディスカッションを行う。
---------------	---------------

(新旧対照表) 「スポーツ救急特講」 授業科目の概要

新	旧
<p>(目標・概要) <u>スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてスポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論することで、(2)最先端のスポーツ救急分野における研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けることにある。全15回を集中講義で実施する。</u> (オムニバス方式/全15回) (1 平沼 憲治/3回) <u>マスギャザリング対応に関する論文と過去の事例について精読・議論する。</u> (2 舟橋 厚/2回) <u>発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する臨床スポーツ臨床医学分野の原著論文を精読・議論する。</u> (7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) <u>スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論する。</u> (10 遠藤 直哉/3回) <u>内科的疾患とオリンピックにおける医療体制に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論する。</u> (1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) <u>臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする</u></p>	<p>(目標・概要) <u>スポーツ現場で発生する(追記)外傷、疾病について基礎と臨床の両側面から解説し、スポーツ現場で起こる事故に対応する最新の論文を基にディスカッションする。全15回を集中講義で実施する。</u> (オムニバス方式/全15回) (1 平沼 憲治(主)/3回) <u>外傷に関して部位別に関する最新の論文を基にディスカッションする。</u> (5 舟橋 厚/2回) <u>発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する最新の論文を基にディスカッションをする</u> (7 中里浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) <u>臓器・運動器に関して解剖・生理学に関する最新の論文を基にディスカッションする。</u> (10 遠藤 直哉/3回) <u>内科的疾患に関する最新の論文を基にディスカッションする。</u> (1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) <u>全体の総括を行う。</u></p>

(新旧対照表) 「国際救急・災害システム演習」 授業科目の概要

新	旧
<p>(目標・概要) <u>国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を習得し、研究活動能力を向上させる。臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行う。全15回を集中講義で実施する。</u> (オムニバス方式/全15回) (2 小川 理郎(主) 4 横田 裕行/8回) <u>米国の救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、研究手法と倫理的配慮についてディスカッションを行う。</u> (3 山本 保博 11 鈴木 健介/7回) <u>米国の災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、研究手法と倫理的配慮についてディスカッションを行う。</u></p>	<p>(目標・概要) <u>国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を習得し、研究を<u>実践する</u>能力を向上させる。臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察(追記)についてディスカッションを行う。全15回を集中講義で実施する。</u> (オムニバス方式/全15回) (2 小川 理郎(主) 4 横田 裕行/8回) <u>世界の救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、(追記)ディスカッションを行う。</u> (3 山本 保博 11 鈴木 健介/7回) <u>世界の災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、(追記)ディスカッションを行う。</u></p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特講」 シラバス

新	旧
講義計画・内容 第3回内容： <u>関東大震災</u> に関する論文についてディスカッションする 第4回内容： <u>阪神淡路大震災</u> に関する論文についてディスカッションする 第5回内容： <u>東日本大震災</u> に関する論文についてディスカッションする 第6回内容： <u>近年</u> の災害に関する論文についてディスカッションする	講義計画・内容 第3回内容： <u>過去の災害</u> に関する論文についてディスカッションする 第4回内容： <u>過去の災害</u> に関する論文についてディスカッションする 第5回内容： <u>過去の災害</u> に関する論文についてディスカッションする 第6回内容： <u>過去の災害</u> に関する論文についてディスカッションする

(新旧対照表) 「救急災害医療学演習」シラバス

新	旧
講義計画・内容 第1回内容： <u>地域(横浜市青葉区など)</u> における災害訓練に参加しディスカッションする 第2回内容： <u>災害拠点病院</u> における災害訓練に参加しディスカッションする 第3回内容： <u>関東大震災の被災地・資料館等</u> を訪問しディスカッションする 第4回内容： <u>阪神淡路大震災の被災地・資料館等</u> を訪問しディスカッションする 第5回内容： <u>東日本大震災の被災地</u> を訪問しディスカッションする 第6回内容： <u>近年の災害の被災地</u> を訪問しディスカッションする 第7回内容： <u>基礎研究施設</u> を訪問し、研究手法についてディスカッションする 第8回内容： <u>基礎研究施設</u> を訪問し、研究手法についてディスカッションする 第9回内容： <u>基礎研究施設</u> を訪問し、研究手法についてディスカッションする 第10回内容： <u>東京または政令指定都市の通信指令</u> を行う施設を訪問しディスカッションする 第11回内容： <u>地方都市の通信指令</u> を行う施設を訪問しディスカッションする 第12回内容： <u>東京または政令指定都市で救急車同乗実習</u> を行い救急救命処置についてディスカッションする 第13回内容： <u>地方都市で救急車同乗実習</u> を行い救急救命処置についてディスカッションする 第14回内容： <u>救命救急センターで病院内実習</u> を行い救急救命処置についてディスカッションする 第15回内容： <u>救急災害医療に関する研究方法と研究倫理</u> についてディスカッションする	講義計画・内容 第1回内容： <u>地域(追記)</u> における災害訓練に参加しディスカッションする 第2回内容： <u>(追記)病院</u> における災害訓練に参加しディスカッションする 第3回内容： <u>(追記)被災地(追記)</u> を訪問しディスカッションする 第4回内容： <u>(追記)被災地(追記)</u> を訪問しディスカッションする 第5回内容： <u>(追記)被災地</u> を訪問しディスカッションする 第6回内容： <u>(追記)被災地</u> を訪問しディスカッションする 第7回内容： <u>(追記)研究施設</u> を訪問し、研究手法についてディスカッションする 第8回内容： <u>(追記)研究施設</u> を訪問し、研究手法についてディスカッションする 第9回内容： <u>(追記)研究施設</u> を訪問し、研究手法についてディスカッションする 第10回内容： <u>(追記)通信指令</u> を行う施設を訪問しディスカッションする 第11回内容： <u>救急車同乗実習</u> を行い救急救命処置についてディスカッションする 第12回内容： <u>(追記)救急車同乗実習</u> を行い救急救命処置についてディスカッションする 第13回内容： <u>病院内実習</u> を行い救急救命処置についてディスカッションする 第14回内容： <u>(追記)病院内実習</u> を行い救急救命処置についてディスカッションする 第15回内容： <u>救急災害医療に関する最新の技術</u> についてディスカッションする

(新旧対照表) 「スポーツ救急特講」シラバス

新	旧
講義概要・目標 <u>スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてスポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論することで、(2)最先端のスポーツ救急分野における研究手法や倫</u>	講義概要・目標 <u>スポーツ現場で発生する(追記)外傷、疾病について基礎と臨床の両側面から解説し、スポーツ現場で起こる事故に対応する最新の論文を基にディスカッションする。(オムニバス形式/全15回)</u>

理的配慮など研究能力を身に着けることにある。(オムニバス形式/全15回)

(1 平沼 憲治/3回)
マシギザリング対応に関する論文と過去の事例について精読・議論する。

(2 舟橋 厚/2回)
発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する臨床スポーツ臨床医学分野の原著論文を精読・議論する。

(7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回)
スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論する。

(10 遠藤 直哉/3回)
内科的疾患とオリンピックにおける医療体制に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論する。

(1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回)
臨床スポーツ医学分野における研究方法と倫理的配慮についてディスカッションする

履修注意

原著論文を題材に詳細な議論が展開されるので、講義担当者より配布される原著論文を精読しておくこと。

講義計画・内容

第1回内容: 血管・循環器系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について

第2回内容: 呼吸器におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について

第3回内容: 消化器(肝臓、胆嚢、膵臓等)におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について

第4回内容: 脳・神経系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について

第5回内容: 骨格筋におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について

第6回内容: 骨・関節におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について

第7回内容: 臨床スポーツ医学分野における自閉症・自閉スペクトラム障害に関する原著論文について

第8回内容: 臨床スポーツ医学分野における知的障害に関する原著論文について

第9回内容: 臨床スポーツ医学分野における肥大型心筋症、心臓振とう等に関する原著論文について

第10回内容: 臨床スポーツ医学分野における熱中症の予防・救急処置等に関する原著論文について

第11回項目: オリンピックにおける医療体制
第11回内容: オリンピックにおける医療体制に関する論文と過去の事例について

(1 平沼 憲治/3回)
外傷に関して部位別に関する最新の論文を基にディスカッションする。

(2 舟橋 厚/2回)
発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する最新の論文を基にディスカッションする。

(7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回)
臓器・運動器に関して解剖・生理学に関する最新の論文を基にディスカッションする。

(10 遠藤 直哉/3回)
内科的疾患に関する最新の論文を基にディスカッションする。

(1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回)
全体の総括を行う。

履修注意

授業中、各々の課題についてディスカッションするので、予習をしておくこと。

講義計画・内容

第1回内容: 心臓および血管の解剖・生理および関連疾患について

第2回内容: 呼吸器の解剖・生理および関係疾患について

第3回内容: 消化器(肝臓、胆嚢、膵臓等)の解剖・生理関係疾患について

第4回内容: 脳・神経系の解剖・生理および関係疾患について

第5回内容: 筋肉の解剖・生理および関係外傷について

第6回内容: 骨・関節の解剖・生理および関係疾患について

第7回内容: (追記)自閉症・自閉スペクトラム障害(追記)

第8回内容: (追記)知的障害(追記)

第9回内容: (追記)肥大型心筋症、心臓振とう等(追記)について

第10回内容: (追記)熱中症の予防・救急処置等(追記)について

第11回項目: 喘息発作・アレルギー疾患
第11回内容: アナフィラキシーショック等の応急処置について

<p>第 12 回項目：<u>マスギャザリング対応 1</u> 第 12 回内容：<u>スポーツ現場におけるマスギャザリング対応に関する論文と過去の事例について</u> 第 13 回項目：<u>マスギャザリング対応 2</u> 第 13 回内容：<u>スポーツ現場におけるファーストレスポンスシステムに関する論文と過去の実例について</u> 第 14 回項目：<u>マスギャザリング対応 3</u> 第 14 回内容：<u>スポーツ現場におけるテロ対策に関する論文と過去の実例について</u> 第 15 回内容：<u>臨床スポーツ医学分野における研究方法と倫理的配慮についてディスカッションする</u></p>	<p>第 12 回項目：<u>頭頸部外傷</u> 第 12 回内容：<u>脳振とう、急性硬膜下血腫、頸髄損傷予防と応急処置について</u> 第 13 回項目：<u>胸腹部外傷、顔面外傷</u> 第 13 回内容：<u>胸腹部外傷、顔面外傷の予防と応急処置について</u> 第 14 回項目：<u>骨折・脱臼</u> 第 14 回内容：<u>脱臼・骨折の応急処置について</u> 第 15 回内容：<u>全体総括</u></p>
---	---

(新旧対照表) 「国際救急・災害システム演習」 シラバス

新	旧
<p>講義概要・目標 国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を習得し、研究活動能力を向上させる。臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行う。全 15 回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全 15 回)</p> <p>(2 小川理郎 4 横田裕行/8 回) <u>米国</u>の救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、<u>研究手法と倫理的配慮について</u>ディスカッションを行う。全 15 回中の 8 回を集中演習で実施する。</p> <p>(3 山本保博 11 鈴木健介/7 回) <u>米国</u>の災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、<u>研究手法と倫理的配慮について</u>ディスカッションを行う。全 15 回中の 7 回を集中演習で実施する。</p> <p>講義計画・内容 第 1 回内容：<u>米国連邦緊急事態管理庁</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第 2 回内容：<u>米国連邦緊急事態管理庁</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第 3 回内容：<u>米国連邦緊急事態管理庁</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第 4 回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し <u>EMS</u> の災害対応についてディスカッションする 第 5 回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し <u>EMS</u> の災害対応についてディスカッションする 第 6 回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し <u>EMS</u> の災害対応についてディスカッションする 第 7 回内容：<u>米国</u>における <u>EMS</u> の研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする 第 8 回内容：<u>米国シアトル</u>の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションする 第 9 回内容：<u>米国シアトル</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする</p>	<p>講義概要・目標 国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を習得し、研究を<u>実践する</u>能力を向上させる。臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察 (<u>追記</u>) についてディスカッションを行う。全 15 回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全 15 回)</p> <p>(2 小川理郎 4 横田裕行/8 回) <u>世界</u>の救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、(<u>追記</u>) ディスカッションを行う。全 15 回中の 8 回を集中演習で実施する。</p> <p>(3 山本保博 11 鈴木健介/7 回) <u>世界</u>の災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、(<u>追記</u>) ディスカッションを行う。全 15 回中の 7 回を集中演習で実施する。</p> <p>講義計画・内容 第 1 回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第 2 回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第 3 回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第 4 回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し (<u>追記</u>) 災害対応についてディスカッションする 第 5 回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し (<u>追記</u>) 災害対応についてディスカッションする 第 6 回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し (<u>追記</u>) ディスカッションする 第 7 回内容：<u>国外の災害対応室</u>を訪問しディスカッションする 第 8 回内容：<u>国外</u>の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションする 第 9 回内容：<u>国外</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする</p>

第 10 回内容： <u>米国シアトルの救急車同乗実習</u> を行い、救急システムについてディスカッションする	第 10 回内容： <u>国外の救急車同乗実習</u> を行い、救急システムについてディスカッションする
第 11 回内容： <u>米国シアトルの救急車同乗実習</u> を行い、救急システムについてディスカッションする	第 11 回内容： <u>国外の救急車同乗実習</u> を行い、救急システムについてディスカッションする
第 12 回内容： <u>米国シアトルの救急車同乗実習</u> を行い、救急システムについてディスカッションする	第 12 回内容： <u>国外の救急車同乗実習</u> を行い、救急システムについてディスカッションする
第 13 回内容： <u>米国シアトルの外傷センター</u> を視察し、救急システムについてディスカッションする	第 13 回内容： <u>国外の病院</u> を視察し、救急システムについてディスカッションする
第 14 回内容： <u>米国シアトルの外傷センター</u> を視察し、救急システムについてディスカッションする	第 14 回内容： <u>国外の病院</u> を視察し、救急システムについてディスカッションする
第 15 回内容： <u>米国における臨床研究方法と倫理配慮</u> についてディスカッションする	第 15 回内容： <u>国内外の救急災害システム</u> に関してディスカッションする

(新旧対照表) 「スポーツ救急特講」シラバス

新	旧
<p>講義概要・目標 <u>スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてスポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論することで、(2)最先端のスポーツ救急分野における研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けることにある。</u> (オムニバス形式/全15回)</p> <p>(1 平沼 憲治/3回) <u>マシガザリング対応に関する論文と過去の事例について精読・議論する。</u></p> <p>(2 舟橋 厚/2回) 発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する<u>臨床スポーツ臨床医学分野の原著論文を精読・議論する。</u></p> <p>(7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) <u>スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論する。</u></p> <p>(10 遠藤 直哉/3回) 内科的疾患とオリンピックにおける医療体制に関する<u>臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論する。</u></p> <p>(1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) <u>臨床スポーツ医学分野における研究方法と倫理的配慮についてディスカッションする</u></p> <p>履修注意 原著論文を題材に詳細な議論が展開されるの</p>	<p>講義概要・目標 スポーツ現場で発生する<u>(追記)外傷、疾病について基礎と臨床の両側面から解説し、スポーツ現場で起こる事故に対応する最新の論文を基にディスカッションする。</u>(オムニバス形式/全15回)</p> <p>(1 平沼 憲治/3回) <u>外傷に関して部位別に関する最新の論文を基にディスカッションする。</u></p> <p>(2 舟橋 厚/2回) 発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する<u>最新の論文を基にディスカッションする。</u></p> <p>(7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) <u>臓器・運動器に関して解剖・生理学に関する最新の論文を基にディスカッションする。</u></p> <p>(10 遠藤 直哉/3回) 内科的疾患に関する<u>最新の論文を基にディスカッションする。</u></p> <p>(1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) <u>全体の総括を行う。</u></p> <p>履修注意 授業中、各々の課題についてディスカッション</p>

<p>で、講義担当者より配布される原著論文を精読しておくこと。</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>血管・循環器系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文</u>について 第2回内容：<u>呼吸器におけるスポーツ医・科学関連の原著論文</u>について 第3回内容：<u>消化器（肝臓、胆嚢、膵臓等）におけるスポーツ医・科学関連の原著論文</u>について 第4回内容：<u>脳・神経系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文</u>について 第5回内容：<u>骨格筋におけるスポーツ医・科学関連の原著論文</u>について 第6回内容：<u>骨・関節におけるスポーツ医・科学関連の原著論文</u>について 第7回内容：<u>臨床スポーツ医学分野における自閉症・自閉スペクトラム障害に関する原著論文</u>について 第8回内容：<u>臨床スポーツ医学分野における知的障害に関する原著論文</u>について 第9回内容：<u>臨床スポーツ医学分野における肥大型心筋症、心臓振とう等に関する原著論文</u>について 第10回内容：<u>臨床スポーツ医学分野における熱中症の予防・救急処置等に関する原著論文</u>について 第11回項目：<u>オリンピックにおける医療体制</u> 第11回内容：<u>各種スポーツを取り巻く環境であるオリンピックにおける医療体制に関する論文と過去の事例</u>について 第12回項目：<u>スポーツマスギャザリングイベント対応1</u> 第12回内容：<u>スポーツ現場におけるマスギャザリング対応に関する論文と過去の事例</u>について 第13回項目：<u>スポーツマスギャザリングイベント対応2</u> 第13回内容：<u>スポーツ現場におけるファーストレスポンスシステムに関する論文と過去の実例</u>について 第14回項目：<u>スポーツマスギャザリングイベント対応3</u> 第14回内容：<u>スポーツ現場におけるテロ対策に関する論文と過去の実例</u>について 第15回内容：<u>臨床スポーツ医学分野における研究方法と倫理的配慮</u>についてディスカッションする</p>	<p>するので、<u>予習</u>しておくこと。</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>心臓および血管の解剖・生理および関連疾患</u>について 第2回内容：<u>呼吸器の解剖・生理および関係疾患</u>について 第3回内容：<u>消化器（肝臓、胆嚢、膵臓等）の解剖・生理関係疾患</u>について 第4回内容：<u>脳・神経系の解剖・生理および関係疾患</u>について 第5回内容：<u>筋肉の解剖・生理および関係外傷</u>について 第6回内容：<u>骨・関節の解剖・生理および関係疾患</u>について 第7回内容：<u>（追記）自閉症・自閉スペクトラム障害（追記）</u> 第8回内容：<u>（追記）知的障害（追記）</u> 第9回内容：<u>（追記）肥大型心筋症、心臓振とう等（追記）</u>について 第10回内容：<u>（追記）熱中症の予防・救急処置等（追記）</u>について 第11回項目：<u>喘息発作・アレルギー疾患</u> 第11回内容：<u>アナフィラキシーショック等の応急処置</u>について 第12回項目：<u>頭頸部外傷</u> 第12回内容：<u>脳振とう、急性硬膜下血腫、頸髄損傷予防と応急処置</u>について 第13回項目：<u>胸腹部外傷、顔面外傷</u> 第13回内容：<u>胸腹部外傷、顔面外傷の予防と応急処置</u>について 第14回項目：<u>骨折・脱臼</u> 第14回内容：<u>脱臼・骨折の応急処置</u>について 第15回内容：<u>全体総括</u></p>
--	--

（新旧対照表）「スポーツ救急特講」授業科目の概要

新	旧
<p>（目標・概要） スポーツ現場で発生する<u>急性の外傷、疾病</u>について、<u>そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論する</u>。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてス</p>	<p>（目標・概要） スポーツ現場で発生する<u>（追記）外傷、疾病</u>について<u>基礎と臨床の両側面から解説し、スポーツ現場で起こる事故に対応する最新の論文を基にディスカッションする</u>。全15回を集中講義で実施する。（オムニバス方式/全15回）</p>

<p>ポーツ臨床医学分野の原著論文を<u>読解・議論</u>することで、<u>(2)最先端のスポーツ救急分野における研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けることにある</u>。全15回を集中講義で実施する。 (オムニバス方式/全15回) (1 平沼 憲治/3回) マスギャザリング対応に関する論文と過去の事例について<u>精読・議論</u>する。 (2 舟橋 厚/2回) 発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する<u>臨床スポーツ臨床医学分野の原著論文を精読・議論</u>する。 (7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に<u>関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論</u>する。 (10 遠藤 直哉/3回) 内科的疾患と<u>オリンピックにおける医療体制に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論</u>する。 (1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) <u>臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッション</u>する</p>	<p>(1 平沼 憲治(主)/3回) <u>外傷に関して部位別に関する最新の論文を基にディスカッション</u>する。 (5 舟橋 厚/2回) 発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する<u>最新の論文を基にディスカッション</u>をする (7 中里浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) <u>臓器・運動器に関して解剖・生理学に関する最新の論文を基にディスカッション</u>する。 (10 遠藤 直哉/3回) 内科的疾患に関する<u>最新の論文を基にディスカッション</u>する。 (1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) 全体の総括を行う。</p>
---	---

(新旧対照表) 「スポーツ救急特講」担当予定授業科目

新	旧
<p>平沼 憲治、舟橋 厚、中里 浩一、遠藤 直哉、鴻崎 香里奈担当 (目標・概要) スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、<u>そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論</u>する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にして<u>スポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論</u>することで、<u>(2)最先端のスポーツ救急分野における知識や研究能力を身に着けることにある</u>。全15回を集中講義で実施する。 (オムニバス方式/全15回) (1 平沼 憲治/3回) マスギャザリング対応に関する論文と過去の事例について<u>精読・議論</u>する。 (2 舟橋 厚/2回) 発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する<u>臨床スポーツ臨床医学分野の原著論文を精読・議論</u>する。 (7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に<u>関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論</u>する。 (10 遠藤 直哉/3回) 内科的疾患と<u>オリンピックにおける医療体制に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論</u>する。 (1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) <u>臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッション</u>する</p>	<p>平沼 憲治、舟橋 厚、中里 浩一、遠藤 直哉、鴻崎 香里奈担当 (目標・概要) スポーツ現場で発生する<u>(追記)外傷、疾病</u>について<u>基礎と臨床の両側面から解説し、スポーツ現場で起こる事故に対応する最新の論文を基にディスカッション</u>する。全15回を集中講義で実施する。 (オムニバス方式/全15回) (1 平沼 憲治(主)/3回) <u>外傷に関して部位別に関する最新の論文を基にディスカッション</u>する。 (5 舟橋 厚/2回) 発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する<u>最新の論文を基にディスカッション</u>をする (7 中里浩一 12 鴻崎 香里奈/6回) <u>臓器・運動器に関して解剖・生理学に関する最新の論文を基にディスカッション</u>する。 (10 遠藤 直哉/3回) 内科的疾患に関する<u>最新の論文を基にディスカッション</u>する。 (1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回) 全体の総括を行う。</p>

(新旧対照表)「国際救急・災害システム演習」シラバス

新	旧
<p>講義概要・目標 国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を習得し、研究活動能力を向上させる。臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行う。全15回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(2 小川理郎 4 横田裕行/8回) <u>米国</u>の救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、<u>研究手法と倫理的配慮</u>についてディスカッションを行う。全15回中の8回を集中演習で実施する。</p> <p>(3 山本保博 11 鈴木健介/7回) <u>米国</u>の災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、<u>研究手法と倫理的配慮</u>についてディスカッションを行う。全15回中の7回を集中演習で実施する。</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>米国連邦緊急事態管理庁</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第2回内容：<u>米国連邦緊急事態管理庁</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第3回内容：<u>米国連邦緊急事態管理庁</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第4回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し <u>EMS</u> の災害対応についてディスカッションする 第5回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し <u>EMS</u> の災害対応についてディスカッションする 第6回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し <u>EMS</u> の災害対応についてディスカッションする 第7回内容：<u>米国</u>における <u>EMS</u> の研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする 第8回内容：<u>米国シアトル</u>の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションする 第9回内容：<u>米国シアトル</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第10回内容：<u>米国シアトル</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第11回内容：<u>米国シアトル</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第12回内容：<u>米国シアトル</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第13回内容：<u>米国シアトルの外傷センター</u>を視察し、救急システムについてディスカッションする 第14回内容：<u>米国シアトルの外傷センター</u>を視察し、救急システムについてディスカッションする</p>	<p>講義概要・目標 国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を習得し、研究を<u>実践する</u>能力を向上させる。臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察 (<u>追記</u>) についてディスカッションを行う。全15回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(2 小川理郎 4 横田裕行/8回) <u>世界</u>の救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、(<u>追記</u>) ディスカッションを行う。全15回中の8回を集中演習で実施する。</p> <p>(3 山本保博 11 鈴木健介/7回) <u>世界</u>の災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、(<u>追記</u>) ディスカッションを行う。全15回中の7回を集中演習で実施する。</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第2回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第3回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し災害対応についてディスカッションする 第4回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し (<u>追記</u>) 災害対応についてディスカッションする 第5回内容：<u>国外の被災地</u>を訪問し (<u>追記</u>) 災害対応についてディスカッションする 第6回内容：<u>米国運輸省</u>を訪問し (<u>追記</u>) ディスカッションする 第7回内容：<u>国外の災害対応室</u>を訪問しディスカッションする 第8回内容：<u>国外</u>の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションする 第9回内容：<u>国外</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第10回内容：<u>国外</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第11回内容：<u>国外</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第12回内容：<u>国外</u>の救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする 第13回内容：<u>国外の病院</u>を視察し、救急システムについてディスカッションする 第14回内容：<u>国外の病院</u>を視察し、救急システムについてディスカッションする</p>

第 15 回内容：米国における臨床研究方法と倫理配慮についてディスカッションする

第 15 回内容：国内外の救急災害システムに関してディスカッションする

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習 I」 シラバス

新	旧
<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO: <u>リサーチマインドを持った救急救命士となるために、特別演習 I では、救急災害医療分野の先行研究で発表されている原著論文から学識を養い、現代の救急医療分野の背景および問題点を抽出。研究で解決すべきリサーチクエッションの設定方法を学ぶ。</u></p> <p>SBOs: ① <u>研究分野の英論文を読み、理解するための知識を修得する。</u> ② <u>医療統計ができる。</u> ③ <u>先行論文のレビューを作成することができる。</u> ④ <u>博士論文の研究テーマを絞り込む。</u></p> <p>履修注意 毎回文献を検索し要約のプレゼンテーション資料を作成してください。 <u>本講義で読み込んだ全ての論文をまとめてレビューを作成して提出してください。</u></p> <p>講義計画・内容 第 1 回内容: <u>講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する</u> 第 2 回項目: <u>論文検索方法</u> 第 2 回内容: <u>医中誌・medical on line・ Pub med などを用いた論文の検索方法を学ぶ</u> 第 3 回項目: <u>論文整理</u> 第 3 回内容: <u>検索した論文の管理方法を学ぶ</u> 第 4 回項目: <u>論文の読み方 1</u> 第 4 回内容: <u>文献の読み方を学ぶ</u> 第 5 回項目: <u>論文の読み方 2</u> 第 5 回内容: <u>検索した論文の信憑性の判断方法を学ぶ</u> 第 6 回項目: <u>リサーチクエッションの設定 1</u> 第 6 回内容: <u>優れたリサーチクエッションの条件 (FINER 及び PECO) を学ぶ</u> 第 7 回項目: <u>関連論文 1</u> 第 7 回内容: <u>救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする</u> 第 8 回項目: <u>関連論文 2</u> 第 8 回内容: <u>救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする</u> 第 9 回項目: <u>関連論文 3</u> 第 9 回内容: <u>救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする</u> 第 10 回項目: <u>関連論文 4</u> 第 10 回内容: <u>救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする</u> 第 11 回項目: <u>関連論文 5</u> 第 11 回内容: <u>救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする</u> 第 12 回項目: <u>リサーチクエッションの設定 2</u></p>	<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO: <u>文献検索と論文要約ができる。</u></p> <p>SBOs: ① <u>研究テーマに関する最新の文献検索ができる。</u> ② <u>論文を PICO/PECO で要約しプレゼンテーションができる。</u> ③ <u>論文を整理しまとめることができる。</u> (追記)</p> <p>履修注意 毎回文献を検索し要約のプレゼンテーション資料を作成してください。 (追記) <u>全ての論文をまとめてレポートとして提出してください</u></p> <p>講義計画・内容 第 1 回内容: <u>講義内容, 受講上の注意等を説明する</u> 第 2 回項目: <u>文献検索 1</u> 第 2 回内容: <u>文献を検索する</u> 第 3 回項目: <u>抄読会 1</u> 第 3 回内容: <u>論文を要約しプレゼンテーションする</u> 第 4 回項目: <u>文献検索 2</u> 第 4 回内容: <u>文献を検索する</u> 第 5 回項目: <u>抄読会 2</u> 第 5 回内容: <u>論文を要約しプレゼンテーションする</u> 第 6 回項目: <u>文献検索 3</u> 第 6 回内容: <u>文献を検索する</u> 第 7 回項目: <u>抄読会 3</u> 第 7 回内容: <u>論文を要約しプレゼンテーションする</u> 第 8 回項目: <u>文献検索 4</u> 第 8 回内容: <u>文献を検索する</u> 第 9 回項目: <u>抄読会 4</u> 第 9 回内容: <u>論文を要約しプレゼンテーションする</u> 第 10 回項目: <u>文献検索 5</u> 第 10 回内容: <u>文献を検索する</u> 第 11 回項目: <u>抄読会 5</u> 第 11 回内容: <u>論文を要約しプレゼンテーションする</u> 第 12 回項目: <u>文献検索 6</u></p>

<p>第12回内容:<u>論文を参考にして、リサーチクエスト</u> <u>ョンをまとめて発表する</u></p> <p>第13回項目:<u>医療統計1</u></p> <p>第13回内容:<u>医療統計学総論1(医学研究に必</u> <u>要な統計学の基本的な概念と手法を学ぶ)</u></p> <p>第14回項目:<u>医療統計2</u></p> <p>第14回内容:<u>医療統計学総論2(医学研究に必</u> <u>要な統計学の基本的な概念と手法を学ぶ)</u></p> <p>第15回項目:<u>医療統計3</u></p> <p>第15回内容:<u>医療統計学各論1(医学研究で頻</u> <u>繁に使用される高度な統計手法を学ぶ)</u></p> <p>第16回項目:<u>医療統計4</u></p> <p>第16回内容:<u>医療統計学各論2(医学研究で頻</u> <u>繁に使用される高度な統計手法を学ぶ)</u></p> <p>第17回項目:<u>医療統計5</u></p> <p>第17回内容:<u>これまで学んだ統計方法をまとめて</u> <u>プレゼンテーションする</u></p> <p>第18回項目:<u>関連論文6</u></p> <p>第18回内容:<u>リサーチクエストに関する救急災</u> <u>害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーシ</u> <u>ョンする</u></p> <p>第19回項目:<u>関連論文7</u></p> <p>第19回内容:<u>リサーチクエストに関する救急災</u> <u>害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーシ</u> <u>ョンする</u></p> <p>第20回項目:<u>関連論文8</u></p> <p>第20回内容:<u>リサーチクエストに関する救急災</u> <u>害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーシ</u> <u>ョンする</u></p> <p>第21回項目:<u>関連論文9</u></p> <p>第21回内容:<u>リサーチクエストに関する救急災</u> <u>害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーシ</u> <u>ョンする</u></p> <p>第22回項目:<u>関連論文10</u></p> <p>第22回内容:<u>リサーチクエストに関する救急災</u> <u>害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーシ</u> <u>ョンする</u></p> <p>第23回項目:<u>関連論文11</u></p> <p>第23回内容:<u>リサーチクエストに関する救急災</u> <u>害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーシ</u> <u>ョンする</u></p> <p>第24回項目:<u>リサーチクエストの設定3</u></p> <p>第24回内容:<u>博士論文の研究テーマとして最適な</u> <u>リサーチクエストをまとめて発表する</u></p> <p>第25回項目:<u>レビューの作成1</u></p> <p>第25回内容:<u>これまでの講義で検索した論文の</u> <u>レビューを作成する</u></p> <p>第26回項目:<u>レビューの作成2</u></p> <p>第26回内容:<u>これまでの講義で検索した論文のレ</u> <u>ビューを作成する</u></p> <p>第27回項目:<u>レビューの作成3</u></p> <p>第27回内容:<u>これまでの講義で検索した論文のレ</u> <u>ビューを作成する</u></p> <p>第28回項目:<u>レビューの作成4</u></p> <p>第28回内容:<u>作成した論文レビューのプレゼンテ</u> <u>ーションをする</u></p> <p>第29回項目:<u>レビューの作成5</u></p> <p>第29回内容:<u>改編した論文レビューのプレゼンテ</u> <u>ーションをする</u></p>	<p>第12回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第13回項目:<u>抄読会6</u></p> <p>第13回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第14回項目:<u>文献検索7</u></p> <p>第14回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第15回項目:<u>抄読会7</u></p> <p>第15回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第16回項目:<u>文献検索8</u></p> <p>第16回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第17回項目:<u>抄読会8</u></p> <p>第17回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第18回項目:<u>文献検索9</u></p> <p>第18回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第19回項目:<u>抄読会9</u></p> <p>第19回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第20回項目:<u>文献検索10</u></p> <p>第20回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第21回項目:<u>抄読会10</u></p> <p>第21回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第22回項目:<u>文献検索11</u></p> <p>第22回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第23回項目:<u>抄読会11</u></p> <p>第23回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第24回項目:<u>文献検索12</u></p> <p>第24回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第25回項目:<u>抄読会12</u></p> <p>第25回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第26回項目:<u>文献検索13</u></p> <p>第26回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第27回項目:<u>抄読会13</u></p> <p>第27回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p> <p>第28回項目:<u>文献検索14</u></p> <p>第28回内容:<u>文献を検索する</u></p> <p>第29回項目:<u>抄読会14</u></p> <p>第29回内容:<u>論文を要約しプレゼンテーションす</u> <u>る</u></p>
--	---

第 30 回項目:リサーチクエストの設定 4 第 30 回内容: <u>作成したレビューを参考に研究によって解決すべきリサーチクエストについてプレゼンテーションし、博士論文の研究テーマとして最適なリサーチクエストを設定する</u>	第 30 回項目:論文のまとめ 第 30 回内容: <u>全ての論文をまとめてレポートを作成する。</u>
--	--

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習 I」 シラバス

新	旧
山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当	山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当
講義計画・内容 第 18 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 19 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 20 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 21 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 22 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 23 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 24 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 25 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 26 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 27 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 28 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする 第 29 回内容: 研究テーマに関する <u>原著論文</u> を要約しプレゼンテーションする	講義計画・内容 第 18 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 19 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 20 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 21 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 22 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 23 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 24 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 25 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 26 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 27 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 28 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする 第 29 回内容: 研究テーマに関する <u>(追記)</u> 論文を要約しプレゼンテーションする

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習 I」 シラバス

新	旧
中里 浩一、鴻崎 香里奈担当	中里 浩一、鴻崎 香里奈担当
講義概要・目標 <u>保健医療学分野に限らず近年の高いインパクトを持つバイオ系国際原著論文は生化学から生理学まで幅広い学問領域および対象を横断しながら総合的にデータを提示し論文をまとめることが必須である。本講義では研究小テーマに関連する先行文献を中心としながらも救急災害医療の基礎分野である生理学、生化学、細胞生物学、分子生物学等の原著論文の関連論文を紹介する。本講義の最終目標は国際的な批判に耐えうる原著論文を作成する基礎能力を獲得することである。</u>	講義概要・目標 <u>本講義は救急災害医療学特別研究 I (以下特別研究 I) に対応して、保健医療学分野に関する国内及び海外の文献を蒐集し、指導教員との討論を通じて博士学位論文を構成する小研究テーマ関連分野の理解を深める。</u> <u>本講義の最終的な目標は学位論文の作成に必要な背景となる知識を自身が蒐集した原著論文を精読し発表することにより、自身の学位論文作成に必要な知識を得ることと文献収集の技法を体得することにある。</u>
履修注意 <u>指定された評価の高い国際原著論文を事前に読み込むことが必須である。講義時には講義担当者から内容に関する解説をするとともに、論理構造やデータの解釈や過不足に関する議論を行う。</u>	履修注意 <u>基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。</u>

<p>小林 正利、遠藤 直哉担当 講義概要・目標 救急災害医療学分野のうち特に形態学における研究に対する「なぜ」という疑問について、科学研究として疑問解決の為の具体的方法・技法の基礎を学び研究者としての基本的事項を解説・演習する。</p> <p>本講義の目標は次のとおり。 1 <u>研究倫理を学ぶ</u> 2 <u>研究法について学ぶ</u> 3 <u>仮説に対する検証の手続きの評価</u></p> <p>履修注意 主に原著論文やデータを<u>確認しながら</u>、議論していく</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>講義内容、受講上の注意を説明する。</u> 第2回項目：<u>研究倫理について1</u> 第2回内容：<u>研究者としての倫理について解説する。</u> 第3回項目：<u>研究倫理について2</u> 第3回内容：<u>研究倫理に関して、web上で確認できるサイトについて解説する。</u> 第4回項目：<u>研究倫理について3</u> 第4回内容：<u>研究倫理に関する問題事例を検討し、再発予防策を検討する。</u> 第5回項目：<u>研究計画の作成法1</u> 第5回内容：<u>研究計画の作成法について解説する。</u> 第6回項目：<u>研究計画の作成法2</u> 第6回内容：<u>研究計画を作成し問題点について検討する。</u> 第7回項目：<u>研究ノートの作成法1</u> 第7回内容：<u>研究ノートの重要性について解説する。</u> 第8回項目：<u>研究ノートの作成法2</u> 第8回内容：<u>研究ノート作成・記入に必要な事項を具体的に解説・演習する。</u> 第9回項目：<u>文献検索方法1</u> 第9回内容：<u>医学中央雑誌等の日本語文献サイトの紹介と利用法</u> 第10回項目：<u>文献検索方法2</u> 第10回内容：<u>Pub Med等の欧文文献サイトの紹介と利用法</u> 第11回項目：<u>文献検索方法3</u> 第11回内容：<u>文献整理の方法について解説する。</u> 第12回項目：<u>研究方法の枠組み1</u> 第12回内容：<u>量的研究の概説</u> 第13回項目：<u>研究方法の枠組み2</u> 第13回内容：<u>量的研究法を用いた論文を紹介し確認する。</u> 第14回項目：<u>研究方法の枠組み3</u> 第14回内容：<u>質的研究の概説</u> 第15回項目：<u>研究方法の枠組み4</u></p>	<p>小林 正利、遠藤 直哉担当 講義概要・目標 各人の研究関連領域に関連する解剖学・組織学研究の国内および国外の原著論文を検索・精読し、ディスカッションを行う。ひとつの原著論文を3週（内容のプレゼンテーション、結果及び考察の是非、総合討論）にわたって取り扱う。本講義の目標は次のとおり。 1 <u>原著論文における仮説の正確な理解と妥当性の評価</u> 2 <u>仮説に対する検証の手続きの評価</u> 3 <u>得られた結果の妥当性および導き出される結論の妥当性の評価</u></p> <p>履修注意 主に原著論文の<u>論理構成を確認しながら</u>、議論していく。</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>講義内容、受講上の注意、説明するとともに研究倫理を理解する。</u> 第2回項目：<u>関連論文1-1</u> 第2回内容：<u>論文1の目的について精読する。</u> 第3回項目：<u>関連論文1-2</u> 第3回内容：<u>論文1の方法、結果について精読する。</u> 第4回項目：<u>関連論文1-3</u> 第4回内容：<u>論文1の考察について精読し討論する。</u> 第5回項目：<u>関連論文2-1</u> 第5回内容：<u>論文2の目的について精読する。</u> 第6回項目：<u>関連論文2-2</u> 第6回内容：<u>論文2の方法、結果について精読する。</u> 第7回項目：<u>関連論文2-3</u> 第7回内容：<u>論文2の考察について精読し討論する。</u> 第8回項目：<u>関連論文3-1</u> 第8回内容：<u>論文3の目的について精読する。</u> 第9回項目：<u>関連論文3-2</u> 第9回内容：<u>論文3の方法、結果について精読する。</u> 第10回項目：<u>関連論文3-3</u> 第10回内容：<u>論文3の考察について精読し討論する。</u> 第11回項目：<u>関連論文4-1</u> 第11回内容：<u>論文4の目的について精読する。</u> 第12回項目：<u>関連論文4-2</u> 第12回内容：<u>論文4の方法、結果について精読する。</u> 第13回項目：<u>関連論文4-3</u> 第13回内容：<u>論文4の考察について精読し討論する。</u> 第14回項目：<u>関連論文5-1</u> 第14回内容：<u>論文5の目的について精読する。</u> 第15回項目：<u>関連論文5-2</u></p>
---	---

<p>第 15 回内容：<u>質的研究法を用いた論文を紹介し確認する。</u></p> <p>第 16 回項目：<u>研究方法の枠組み 5</u></p> <p>第 16 回内容：<u>形態的研究の概説</u></p> <p>第 17 回項目：<u>研究方法の枠組み 6</u></p> <p>第 17 回内容：<u>形態的研究法を用いた論文を紹介し確認する。</u></p> <p>第 18 回項目：<u>研究方法の枠組み 7</u></p> <p>第 18 回内容：<u>症例研究の概説</u></p> <p>第 19 回項目：<u>研究方法の枠組み 8</u></p> <p>第 19 回内容：<u>症例研究法を用いた論文を紹介し確認する。</u></p> <p>第 20 回項目：<u>症例報告の方法</u></p> <p>第 20 回内容：<u>自身の経験から症例を考える。</u></p> <p>第 21 回項目：<u>症例報告 1</u></p> <p>第 21 回内容：<u>症例報告のデザインを検討する。</u></p> <p>第 22 回項目：<u>症例報告 2</u></p> <p>第 22 回内容：<u>症例報告を記述する。</u></p> <p>第 23 回項目：<u>統計手法 1</u></p> <p>第 23 回内容：<u>統計学の必要性について解説する。</u></p> <p>第 24 回項目：<u>統計手法 2</u></p> <p>第 24 回内容：<u>検定の原理について解説する。</u></p> <p>第 25 回項目：<u>統計手法 3</u></p> <p>第 25 回内容：<u>パラメトリック検定について解説する。</u></p> <p>第 26 回項目：<u>統計手法 4</u></p> <p>第 26 回内容：<u>パラメトリック検定について実践する。</u></p> <p>第 27 回項目：<u>統計手法 5</u></p> <p>第 27 回内容：<u>ノンパラメトリック検定について解説する。</u></p> <p>第 28 回項目：<u>統計手法 6</u></p> <p>第 28 回内容：<u>ノンパラメトリック検定について実践する。</u></p> <p>第 29 回内容：<u>受講者が特に注目した項目について振り返る。</u></p> <p>第 30 回内容：<u>受講者が特に注目した項目について振り返る。</u></p> <p>教科書・参考書 必要に応じて掲示する。</p>	<p>第 15 回内容：<u>論文 5 の方法、結果について精読する。</u></p> <p>第 16 回項目：<u>関連論文 5 - 3</u></p> <p>第 16 回内容：<u>論文 5 の考察について精読し討論する。</u></p> <p>第 17 回項目：<u>関連論文 6 - 1</u></p> <p>第 17 回内容：<u>論文 6 の目的について精読する。</u></p> <p>第 18 回項目：<u>関連論文 6 - 2</u></p> <p>第 18 回内容：<u>論文 6 の方法、結果について精読する。</u></p> <p>第 19 回項目：<u>関連論文 6 - 3</u></p> <p>第 19 回内容：<u>論文 6 の考察について精読し討論する。</u></p> <p>第 20 回項目：<u>関連論文 7 - 1</u></p> <p>第 20 回内容：<u>論文 7 の目的について精読する。</u></p> <p>第 21 回項目：<u>関連論文 7 - 2</u></p> <p>第 21 回内容：<u>論文 7 の方法、結果について精読する。</u></p> <p>第 22 回項目：<u>関連論文 7 - 3</u></p> <p>第 22 回内容：<u>論文 7 の考察について精読し討論する。</u></p> <p>第 23 回項目：<u>関連論文 8 - 1</u></p> <p>第 23 回内容：<u>論文 8 の目的について精読する。</u></p> <p>第 24 回項目：<u>関連論文 8 - 2</u></p> <p>第 24 回内容：<u>論文 8 の方法、結果について精読する。</u></p> <p>第 25 回項目：<u>関連論文 8 - 3</u></p> <p>第 25 回内容：<u>論文 8 の考察について精読し討論する。</u></p> <p>第 26 回項目：<u>関連論文 9 - 1</u></p> <p>第 26 回内容：<u>論文 9 の目的について精読する。</u></p> <p>第 27 回項目：<u>関連論文 9 - 2</u></p> <p>第 27 回内容：<u>論文 9 の方法、結果について精読する。</u></p> <p>第 28 回項目：<u>関連論文 9 - 3</u></p> <p>第 28 回内容：<u>論文 9 の考察について精読し討論する。</u></p> <p>第 29 回内容：<u>特に注目すべき論文について振り返る。</u></p> <p>第 30 回内容：<u>特に注目すべき論文について振り返る。</u></p> <p>教科書・参考書 特になし。</p>
---	---

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習Ⅱ」シラバス

新	旧
<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO：特別演習Ⅰで設定したリサーチクエスションの社会的・学問的意義について考察、博士論文の研究テーマとしての適性や問題点を討論し、研究の質を高める。また、研究で得られた知見を他者と共有する為の効果的な発表方法を修得する。</p> <p>SB0s：</p>	<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO：研究計画を実行し結果をまとめることができる。</p> <p>SB0s：</p>

- ①研究テーマの設定と研究結果が社会に及ぼす貢献度を説明できる。
 - ②研究分野の最新の論文を読み、客観的に評価できる知識を修得する。
 - ③研究成果を社会へ発信するための様々な知識を修得する。
- (削除)

履修注意

プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。

講義計画・内容

- 第1回内容：講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
- 第2回項目：研究方法の検討1
- 第2回内容：研究を行うに必要な研究方法の検討
- 第3回項目：研究方法の検討2
- 第3回内容：研究を行うに必要な研究方法の検討
- 第4回項目：研究方法の確立1
- 第4回内容：研究手法の習得
- 第5回項目：研究方法の確立2
- 第5回内容：研究手法の習得
- 第6回項目：研究方法の確立3
- 第6回内容：研究手法の習得
- 第7回項目：結果をまとめる1
- 第7回内容：研究結果をまとめる方法を学ぶ
- 第8回項目：結果をまとめる2
- 第8回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
- 第9回項目：結果をまとめる3
- 第9回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
- 第10回項目：結果をまとめる4
- 第10回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
- 第11回項目：結果をまとめる5
- 第11回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
- 第12回項目：結果をまとめる6
- 第12回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
- 第13回項目：結果をまとめる7
- 第13回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
- 第14回項目：結果をまとめる8
- 第14回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
- 第15回項目：結果の考察1
- 第15回内容：研究結果の考察方法について学ぶ
- 第16回項目：結果の考察2
- 第16回内容：
- 第17回項目：結果の考察3
- 第17回内容：特別研究Ⅱで実施した研究結果

- ①研究計画を立案する。
- ②予備実験を行う。
- ③グラフや表を用いて結果をまとめることができる。
- ④予備実験の結果から研究計画の改善点を説明できる。

履修注意

研究計画をプレゼンテーションしてください。研究計画と予備実験結果をレポートとして提出してください。

講義計画・内容

- 第1回内容：講義内容、受講上の注意等を説明する。
- 第2回項目：研究計画立案1
- 第2回内容：研究計画を立案する
- 第3回項目：研究計画立案2
- 第3回内容：研究計画を立案する
- 第4回項目：研究計画立案3
- 第4回内容：研究計画を立案する
- 第5回項目：研究計画立案4
- 第5回内容：研究計画を立案する
- 第6回項目：研究計画立案5
- 第6回内容：研究計画を立案する
- 第7回項目：研究計画発表1
- 第7回内容：研究計画をプレゼンテーションする
- 第8回項目：研究計画発表2
- 第8回内容：研究計画をプレゼンテーションする
- 第9回項目：研究計画再検討1
- 第9回内容：研究計画を再検討する
- 第10回項目：研究計画再検討2
- 第10回内容：研究計画を再検討する
- 第11回項目：研究計画発表3
- 第11回内容：研究計画をプレゼンテーションする
- 第12回項目：研究計画発表4
- 第12回内容：研究計画をプレゼンテーションする
- 第13回項目：予備実験1
- 第13回内容：予備実験を行い検証する
- 第14回項目：予備実験2
- 第14回内容：予備実験を行い検証する
- 第15回項目：予備実験3
- 第15回内容：予備実験を行い検証する
- 第16回項目：予備実験4
- 第16回内容：予備実験を行い検証する
- 第17回項目：予備実験5
- 第17回内容：予備実験を行い検証する

<p>から考察をまとめる</p> <p>第 18 回項目：<u>結果の考察 4</u></p> <p>第 18 回内容：<u>特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめる</u></p> <p>第 19 回項目：<u>結果の考察 5</u></p> <p>第 19 回内容：<u>特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめる</u></p> <p>第 20 回項目：<u>結果の結論 1</u></p> <p>第 20 回内容：<u>研究結果の結論をまとめる方法を学ぶ</u></p> <p>第 21 回項目：<u>結果の結論 2</u></p> <p>第 21 回内容：<u>特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討</u></p> <p>第 22 回項目：<u>結果の結論 3</u></p> <p>第 22 回内容：<u>特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論について、プレゼンテーションする</u></p> <p>第 23 回項目：<u>研究成果発表 1</u></p> <p>第 23 回内容：<u>研究成果の発表方法について学ぶ</u></p> <p>第 24 回項目：<u>研究成果発表 2</u></p> <p>第 24 回内容：<u>特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめる</u></p> <p>第 25 回項目：<u>研究成果発表 3</u></p> <p>第 25 回内容：<u>特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめる</u></p> <p>第 26 回項目：<u>研究成果発表 4</u></p> <p>第 26 回内容：<u>特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめる</u></p> <p>第 27 回項目：<u>研究成果発表 5</u></p> <p>第 27 回内容：<u>特別研究Ⅱでまとめた研究成果についてパワーポイント使い発表する</u></p> <p>第 28 回項目：<u>研究成果発表 6</u></p> <p>第 28 回内容：<u>特別研究Ⅱでまとめた研究成果についてパワーポイント使い発表する</u></p> <p>第 29 回項目：<u>研究成果発表 7</u></p> <p>第 29 回内容：<u>特別研究Ⅱでまとめた研究成果についてパワーポイント使い発表する</u></p> <p>第 30 回項目：<u>まとめ</u></p> <p>第 30 回内容：<u>今後の研究について課題と展望を検討する</u></p>	<p>第 18 回項目：<u>予備実験 6</u></p> <p>第 18 回内容：<u>予備実験を行い検証する</u></p> <p>第 19 回項目：<u>予備実験 7</u></p> <p>第 19 回内容：<u>予備実験を行い検証する</u></p> <p>第 20 回項目：<u>予備実験 8</u></p> <p>第 20 回内容：<u>予備実験を行い検証する</u></p> <p>第 21 回項目：<u>予備実験 9</u></p> <p>第 21 回内容：<u>予備実験を行い検証する</u></p> <p>第 22 回項目：<u>予備実験 10</u></p> <p>第 22 回内容：<u>予備実験を行い検証する</u></p> <p>第 23 回項目：<u>結果のまとめ 1</u></p> <p>第 23 回内容：<u>結果をまとめる</u></p> <p>第 24 回項目：<u>結果のまとめ 2</u></p> <p>第 24 回内容：<u>統計学的検討を行う</u></p> <p>第 25 回項目：<u>結果のまとめ 3</u></p> <p>第 25 回内容：<u>表やグラフを作成する</u></p> <p>第 26 回項目：<u>結果のまとめ 4</u></p> <p>第 26 回内容：<u>表やグラフを作成する</u></p> <p>第 27 回項目：<u>研究計画の見直し 1</u></p> <p>第 27 回内容：<u>研究計画の改善点を検討する</u></p> <p>第 28 回項目：<u>研究計画の見直し 2</u></p> <p>第 28 回内容：<u>研究計画の改善点を検討する</u></p> <p>第 29 回項目：<u>予備実験結果の発表 1</u></p> <p>第 29 回内容：<u>予備実験結果を発表</u></p> <p>第 30 回項目：<u>予備実験結果の発表 2</u></p> <p>第 30 回内容：<u>予備実験結果を発表</u></p>
---	---

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習Ⅱ」シラバス

新	旧
<p>山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当</p> <p>講義計画・内容</p> <p>第 2 回項目：<u>先行研究 1</u></p> <p>第 2 回内容：<u>先行研究について調べ、研究方法のデザインをまとめる</u></p> <p>第 3 回項目：<u>先行研究 2</u></p> <p>第 3 回内容：<u>各論文の新規性・有効性・信頼性をまとめる</u></p> <p>第 4 回項目：<u>先行研究 3</u></p> <p>第 4 回内容：<u>先行研究で明らかになっていないリサーチクエッションを明確にする</u></p> <p>第 25 回内容：<u>結果の根拠となる文献を引用する</u></p> <p>第 26 回内容：<u>結果の根拠となる文献を引用する</u></p>	<p>山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当</p> <p>講義計画・内容</p> <p>第 2 回項目：<u>文献検索 1</u></p> <p>第 2 回内容：<u>研究テーマに沿った文献を検索する</u></p> <p>第 3 回項目：<u>文献検索 2</u></p> <p>第 3 回内容：<u>研究テーマに沿った文献を検索する</u></p> <p>第 4 回項目：<u>参考文献リスト作成</u></p> <p>第 4 回内容：<u>研究テーマに沿った参考文献リストを作成する</u></p> <p>第 25 回内容：<u>結果の根拠となる文研を引用する</u></p> <p>第 26 回内容：<u>結果の根拠となる文研を引用する</u></p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習Ⅱ」シラバス

新	旧
<p>中里 浩一、鴻崎 香里奈担当 講義概要・目標 通常自然科学分野における博士学位申請論文は学位申請者が3報程度の原著論文を作成し、それぞれの論文における科学的な結論を組み合わせることで学位申請論文の全体的な結論(大テーマ)を導くことになる。本講義は<u>そういった学位申請論文の全体構造を意識し、学位論文の要素となる複数の研究小テーマ(小テーマ)に関連する原著論文をレビューすることで自分自身の小テーマの設定を行う。</u>本講義の目的は学位申請論文を形作る原著論文の小テーマに関連する複数の先行研究をまとめることで原著論文の中でも特にイントロダクションにおけるパラグラフライティングの一助とすることである。</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>博士学位請求論文作成へ向けての学位論文全体の構造を議論する</u> 第2回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第2回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する1</u> 第3回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第3回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する2</u> 第4回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第4回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する3</u> 第5回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第5回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)</u> 第6回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第6回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)</u> 第7回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第7回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ3)</u> 第8回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第8回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ4)</u> 第9回項目：<u>小テーマ1の先行研究</u> 第9回内容：<u>小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ5)</u> 第10回項目：<u>小テーマ1の概要まとめ</u> 第10回内容：<u>これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する</u> 第11回項目：<u>小テーマ2の先行研究</u> 第11回内容：<u>小テーマ2に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する1</u></p>	<p>中里 浩一、鴻崎 香里奈担当 講義概要・目標 通常自然科学分野における博士学位申請論文は学位申請者が3報程度の原著論文を作成し、それぞれの論文における科学的な結論を組み合わせることで学位申請論文の全体的な結論(大テーマ)を導くことになる。本講義は救急災害医療学特別演習Ⅱ(以下特別演習Ⅱ)に呼応して、<u>学位論文の要素となる複数の研究小テーマ(小テーマ)をレビューすることで設定した小テーマの実験データから各テーマから原著論文の作成の実際を行う。</u>本講義の目的は学位申請論文を形作る原著論文の小テーマから原著論文を作成する過程を学ぶことにある。</p> <p>講義計画・内容 第1回内容：<u>(追記)</u> 第2回項目：<u>学位論文テーマ構成1</u> 第2回内容：<u>学位論文の大テーマについてプレゼン、議論する</u> 第3回項目：<u>学位論文テーマ構成2</u> 第3回内容：<u>学位論文小テーマ1について議論する。</u> 第4回項目：<u>学位論文テーマ構成3</u> 第4回内容：<u>学位論文小テーマ1について議論する。</u> 第5回項目：<u>学位論文テーマ構成4</u> 第5回内容：<u>学位論文小テーマ2について議論する。</u> 第6回項目：<u>学位論文テーマ構成5</u> 第6回内容：<u>学位論文小テーマ2について議論する。</u> 第7回項目：<u>学位論文テーマ構成6</u> 第7回内容：<u>学位論文小テーマ3について議論する。</u> 第8回項目：<u>学位論文テーマ構成7</u> 第8回内容：<u>学位論文小テーマ3について議論する。</u> 第9回項目：<u>学位論文テーマ構成8</u> 第9回内容：<u>学位論文の大テーマについて再考する</u> 第10回項目：<u>小テーマ1の論文作成1</u> 第10回内容：<u>小テーマ1の実験データ計画をプレゼン、議論する</u> 第11回項目：<u>小テーマ1の論文作成2</u> 第11回内容：<u>小テーマ1の実験データをプレゼン、議論する1</u></p>

<p>第 12 回項目：小テーマ 2 の先行研究 第 12 回内容：小テーマ 2 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 2</p> <p>第 13 回項目：小テーマ 2 の先行研究 第 13 回内容：小テーマ 2 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 3</p> <p>第 14 回項目：小テーマ 2 の先行研究 第 14 回内容：小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 1）</p> <p>第 15 回項目：小テーマ 2 の先行研究 第 15 回内容：小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 2）</p> <p>第 16 回項目：小テーマ 2 の先行研究 第 16 回内容：小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 3）</p> <p>第 17 回項目：小テーマ 2 の先行研究 第 17 回内容：小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 4）</p> <p>第 18 回項目：小テーマ 2 の先行研究 第 18 回内容：小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 5）</p> <p>第 19 回項目：小テーマ 2 の概要まとめ 第 19 回内容：これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する</p> <p>第 20 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 20 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 1</p> <p>第 21 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 21 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 2</p> <p>第 22 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 22 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 3</p> <p>第 23 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 23 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 1）</p> <p>第 24 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 24 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 2）</p> <p>第 25 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 25 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 3）</p> <p>第 26 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 26 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 4）</p> <p>第 27 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 27 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う（パラグラフ 5）</p> <p>第 28 回項目：小テーマ 3 の概要まとめ</p>	<p>第 12 回項目：小テーマ 1 の論文作成 3 第 12 回内容：小テーマ 1 の実験データをプレゼン、議論する 2</p> <p>第 13 回項目：小テーマ 1 の論文作成 4 第 13 回内容：小テーマ 1 の実験データをプレゼン、議論する 3</p> <p>第 14 回項目：小テーマ 1 の論文作成 5 第 14 回内容：特別演習 II によるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する</p> <p>第 15 回項目：小テーマ 1 の論文作成 6 第 15 回内容：小テーマ 1 における実験手法の確認を行う（追記）</p> <p>第 16 回項目：小テーマ 1 の論文作成 7 第 16 回内容：小テーマ 1 におけるデータから考察を行う 1（追記）</p> <p>第 17 回項目：小テーマ 1 の論文作成 8 第 17 回内容：小テーマ 1 におけるデータから考察を行う 2（追記）</p> <p>第 18 回項目：小テーマ 1 まとめ 第 18 回内容：小テーマ 1 まとめを行う（追記）</p> <p>第 19 回項目：小テーマ 2 の論文作成 1 第 19 回内容：小テーマ 2 の実験データ計画をプレゼン、議論する</p> <p>第 20 回項目：小テーマ 2 の論文作成 2 第 20 回内容：小テーマ 2 の実験データをプレゼン、議論する 1</p> <p>第 21 回項目：小テーマ 2 の論文作成 3 第 21 回内容：小テーマ 2 の実験データをプレゼン、議論する 2</p> <p>第 22 回項目：小テーマ 2 の論文作成 4 第 22 回内容：小テーマ 2 の実験データをプレゼン、議論する 3</p> <p>第 23 回項目：小テーマ 2 の論文作成 5 第 23 回内容：特別演習 II によるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する</p> <p>第 24 回項目：小テーマ 2 の論文作成 6 第 24 回内容：小テーマ 2 における実験手法の確認を行う（追記）</p> <p>第 25 回項目：小テーマ 2 の論文作成 7 第 25 回内容：小テーマ 2 におけるデータから考察を行う 1（追記）</p> <p>第 26 回項目：小テーマ 2 の論文作成 8 第 26 回内容：小テーマ 2 におけるデータから考察を行う 2（追記）</p> <p>第 27 回項目：小テーマ 2 まとめ 第 27 回内容：小テーマ 2 のまとめを行う（追記）</p> <p>第 28 回項目：（追記）まとめ</p>
---	--

<p>第 28 回内容：これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する</p> <p>第 29 回項目：<u>博士論文の構成</u></p> <p>第 29 回内容：小テーマ 1～3 を元にした博士論文全体の構成についてプレゼンを行う</p> <p>第 30 回項目：<u>博士論文の構成</u></p> <p>第 30 回内容：博士論文全体の構成から大テーマの設定を再確認する</p>	<p>第 28 回内容：小テーマから原著論文を作成する過程を確認する。</p> <p>第 29 回項目：<u>まとめ</u></p> <p>第 29 回内容：小テーマから原著論文を作成する過程を確認する。</p> <p>第 30 回項目：<u>まとめ</u></p> <p>第 30 回内容：小テーマから原著論文を作成する過程を確認する</p>
--	--

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習Ⅱ」シラバス

新	旧
<p>小林 正利、遠藤 直哉担当</p> <p>講義概要・目標</p> <p>特別演習Ⅰに引き続き、各人の救急医療災害分野に関連する研究を進展させ、学会発表等でのプレゼン能力を向上させるとともに抄録を作成し、論文作成のストーリー展開能力を向上させることを目標とする。</p> <p>本講義の目標は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>クリティカルシンキングができる。</u> 2 <u>エビデンスに基づいて論理的説明ができる。</u> 3 <u>得られた結果の妥当性および導き出される結論を明確に伝えられるようになる。</u> <p>履修注意</p> <p>事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度を総合的に評価する。</p> <p>評価方法</p> <p><u>プレゼンレジュメ・資料、発表内容、口頭試問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。</u></p> <p>講義計画・内容</p> <p>第 1 回内容：<u>講義内容、受講上の注意を説明する。</u></p> <p>第 2 回項目：<u>プレゼン技法の確認 1</u></p> <p>第 2 回内容：<u>プレゼン技法、研究の論理構成・ストーリーについて検討する。</u></p> <p>第 3 回項目：<u>プレゼン技法の確認 2</u></p> <p>第 3 回内容：<u>プレゼン技法、研究の論理構成・ストーリーについて検討する。</u></p> <p>第 4 回項目：<u>各項目の文章構成 1</u></p> <p>第 4 回内容：<u>パラグラフライティングの技法について解説する。</u></p> <p>第 5 回項目：<u>各項目の文章構成 2</u></p> <p>第 5 回内容：<u>パラグラフの文章構成について解説する。</u></p> <p>第 6 回項目：<u>各項目の文章構成 3</u></p> <p>第 6 回内容：<u>パラグラフの文章構成を実践する。</u></p> <p>第 7 回項目：<u>画像解析・整理 1</u></p> <p>第 7 回内容：<u>写真データの整理法について解説する</u></p> <p>第 8 回項目：<u>画像解析・整理 2</u></p> <p>第 8 回内容：<u>Image Jを使用したデータ処理を解説し、実践する。</u></p>	<p>小林 正利、遠藤 直哉担当</p> <p>講義概要・目標</p> <p>特別演習Ⅰに引き続き、各人の研究関連領域に関連する解剖学・組織学研究の国内および国外の原著論文を検索・精読し、ディスカッションを行う。ひとつの原著論文を3週(内容のプレゼンテーション、結果及び考察の是非、総合討論)にわたって取り扱う。</p> <p>本講義の目標は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>原著論文における仮説の正確な理解と妥当性の評価</u> 2 <u>仮説に対する検証の手続きの評価</u> 3 <u>得られた結果の妥当性および導き出される結論の妥当性の評価</u> <p>履修注意</p> <p>事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。</p> <p>評価方法</p> <p><u>事前準備状況、発表内容、口頭試問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。</u></p> <p>講義計画・内容</p> <p>第 1 回内容：<u>講義内容、受講上の注意、説明するとともに研究倫理を理解する。</u></p> <p>第 2 回項目：<u>関連論文 1-1</u></p> <p>第 2 回内容：<u>論文 1 の目的について精読する。</u></p> <p>第 3 回項目：<u>関連論文 1-2</u></p> <p>第 3 回内容：<u>論文 1 の方法、結果について精読する。</u></p> <p>第 4 回項目：<u>関連論文 1-3</u></p> <p>第 4 回内容：<u>論文 1 の考察について精読し討論する。</u></p> <p>第 5 回項目：<u>関連論文 2-1</u></p> <p>第 5 回内容：<u>論文 2 の目的について精読する。</u></p> <p>第 6 回項目：<u>関連論文 2-2</u></p> <p>第 6 回内容：<u>論文 2 の方法、結果について精読する。</u></p> <p>第 7 回項目：<u>関連論文 2-3</u></p> <p>第 7 回内容：<u>論文 2 の考察について精読し討論する。</u></p> <p>第 8 回項目：<u>関連論文 3-1</u></p> <p>第 8 回内容：<u>論文 3 の目的について精読する。</u></p>

<p>第 9 回項目：<u>画像解析・整理 3</u> 第 9 回内容：<u>Photoshop を使用したデータ処理を解説し、実践する。</u> 第 10 回項目：<u>画像解析・整理 4</u> 第 10 回内容：<u>3 次元解析ソフトを用いたデータ処理を解説し実践する。</u> 第 11 回項目：<u>図表の整理 1</u> 第 11 回内容：<u>パワーポイントを利用した図表の整理法を解説し実践する。</u> 第 12 回項目：<u>図表の整理 2</u> 第 12 回内容：<u>パワーポイントを利用した図表の整理法を解説し実践する。</u> 第 13 回項目：<u>ポスターの作製法 1</u> 第 13 回内容：<u>Illustrator・Power point を使用したポスターの作製法を解説する。</u> 第 14 回項目：<u>ポスターの作製法 2</u> 第 14 回内容：<u>効果的な文章・図表の配置を解説し議論する。</u> 第 15 回項目：<u>ポスターの作製法 3</u> 第 15 回内容：<u>ポスターを完成させる。</u></p> <p>第 16 回項目：<u>ポスター発表演習 1</u> 第 16 回内容：<u>内容を発表し受講者が互いに議論を行う。</u> 第 17 回項目：<u>ポスター発表演習 2</u> 第 17 回内容：<u>ハンドアウトを作製する。</u> 第 18 回項目：<u>口頭発表演習 1</u> 第 18 回内容：<u>口頭発表用のスライド原稿を作成する。</u> 第 19 回項目：<u>口頭発表演習 2</u> 第 19 回内容：<u>口頭発表を受講者が互いに行い評価する。</u> 第 20 回項目：<u>口頭発表演習 3</u> 第 20 回内容：<u>加筆・修正を行い完成させる。</u> 第 21 回項目：<u>抄録の作成</u> 第 21 回内容：<u>発表抄録を作成する。</u></p> <p>第 22 回項目：<u>論文の作成法演習 1</u> 第 22 回内容：<u>序章・問題意識・先行研究の書き方を演習する。</u> 第 23 回項目：<u>論文の作成法演習 2</u> 第 23 回内容：<u>研究方法の書き方を演習する。</u> 第 24 回項目：<u>論文の作成法演習 3</u> 第 24 回内容：<u>研究結果・研究考察・参考文献の書き方を演習する。</u> 第 25 回項目：<u>論文の作成法演習 4</u> 第 25 回内容：<u>題名・目次・凡例及び要旨・抄録の書き方を演習する。</u> 第 26 回項目：<u>論文の作成法演習 5</u> 第 26 回内容：<u>投稿規定について論文構成のまとめ方を演習する。</u> 第 27 回項目：<u>論文の作成法演習 6</u> 第 27 回内容：<u>論文構成を再考する。</u> 第 28 回項目：<u>論文の作成法演習 7</u> 第 28 回内容：<u>小論文を完成させる。</u></p> <p>第 29 回内容：<u>受講者が特に注目した項目について振り返る。</u> 第 30 回内容：<u>受講者が特に注目した項目につ</u></p>	<p>第 9 回項目：<u>関連論文 3-2</u> 第 9 回内容：<u>論文 3 の方法、結果について精読する。</u> 第 10 回項目：<u>関連論文 3-3</u> 第 10 回内容：<u>論文 3 の考察について精読し討論する。</u> 第 11 回項目：<u>関連論文 4-1</u> 第 11 回内容：<u>論文 4 の目的について精読する。</u></p> <p>第 12 回項目：<u>関連論文 4-2</u> 第 12 回内容：<u>論文 4 の方法、結果について精読する。</u> 第 13 回項目：<u>関連論文 4-3</u> 第 13 回内容：<u>論文 4 の考察について精読し討論する。</u> 第 14 回項目：<u>関連論文 5-1</u> 第 14 回内容：<u>論文 5 の目的について精読する。</u></p> <p>第 15 回項目：<u>関連論文 5-2</u> 第 15 回内容：<u>論文 5 の方法、結果について精読する。</u> 第 16 回項目：<u>関連論文 5-3</u> 第 16 回内容：<u>論文 5 の考察について精読し討論する。</u> 第 17 回項目：<u>関連論文 6-1</u> 第 17 回内容：<u>論文 6 の目的について精読する。</u> 第 18 回項目：<u>関連論文 6-2</u> 第 18 回内容：<u>論文 6 の方法、結果について精読する。</u> 第 19 回項目：<u>関連論文 6-3</u> 第 19 回内容：<u>論文 6 の考察について精読し討論する。</u> 第 20 回項目：<u>関連論文 7-1</u> 第 20 回内容：<u>論文 7 の目的について精読する。</u> 第 21 回項目：<u>関連論文 7-2</u> 第 21 回内容：<u>論文 7 の方法、結果について精読する。</u> 第 22 回項目：<u>関連論文 7-3</u> 第 22 回内容：<u>論文 7 の考察について精読し討論する。</u> 第 23 回項目：<u>関連論文 8-1</u> 第 23 回内容：<u>論文 8 の目的について精読する。</u> 第 24 回項目：<u>関連論文 8-2</u> 第 24 回内容：<u>論文 8 の方法、結果について精読する。</u> 第 25 回項目：<u>関連論文 8-3</u> 第 25 回内容：<u>論文 8 の考察について精読し討論する。</u> 第 26 回項目：<u>関連論文 9-1</u> 第 26 回内容：<u>論文 9 の目的について精読する。</u> 第 27 回項目：<u>関連論文 9-2</u> 第 27 回内容：<u>論文 9 の方法、結果について精読する。</u> 第 28 回項目：<u>関連論文 9-3</u> 第 28 回内容：<u>論文 9 の考察について精読し討論する。</u> 第 29 回内容：<u>特に注目すべき論文について振り返る。</u> 第 30 回内容：<u>特に注目すべき論文について振</u></p>
---	---

いて振り返る。 教科書・参考書 必要に応じて掲示する。	り返る。 教科書・参考書 特になし。
--	---------------------------------

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習Ⅲ」 シラバス

新	旧
小川 理郎、後藤 真吏奈担当	小川 理郎、後藤 真吏奈担当
講義概要・目標 GIO: 特別演習Ⅲは、特別研究Ⅲで研究を計画・実施・結果解析・論文作成するのに必要となる知識を取得する。	講義概要・目標 GIO: <u>論文投稿ができる。</u>
SBOs : ①研究計画を構築し、妥当性、信頼性を検証する枠組みを確立するための知識を修得する。 ②研究結果を分かりやすく発表するための様々な知識を修得する。 (削除)	SBOs : ①投稿規定に沿った論文が記載できる。 ②英文でタイトル・抄録が記載できる。 ③査読者・編集者とのやり取りができる。
履修注意 <u>プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。</u>	履修注意 <u>研究計画を実行し結果をプレゼンテーションしてください</u> <u>論文投稿する雑誌を決めて投稿規定に沿った論文を作成してください</u>
講義計画・内容 第1回内容: <u>講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する</u> 第2回項目: <u>研究方法の検討1</u> 第2回内容: <u>研究方法のデザインをする</u> 第3回項目: <u>研究方法の検討2</u> 第3回内容: <u>研究を行うに必要な研究方法の検討</u> 第4回項目: <u>研究方法の検討3</u> 第4回内容: <u>特別研究Ⅲの実験計画に参考となる論文をまとめてプレゼンテーションする</u> 第5回項目: <u>研究方法の確立1</u> 第5回内容: <u>研究手法が適切か検討する</u> 第6回項目: <u>研究方法の確立1</u> 第6回内容: <u>研究手法精度について検討する</u> 第7回項目: <u>結果をまとめる1</u> 第7回内容: <u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第8回項目: <u>結果をまとめる2</u> 第8回内容: <u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第9回項目: <u>結果をまとめる3</u> 第9回内容: <u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第10回項目: <u>結果をまとめる4</u> 第10回内容: <u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第11回項目: <u>結果をまとめる5</u> 第11回内容: <u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第12回項目: <u>結果をまとめる6</u> 第12回内容: <u>特別研究Ⅲで実施した研究結果</u>	講義計画・内容 第1回内容: <u>講義内容, 受講上の注意等を説明する.</u> 第2回項目: <u>研究計画作成1</u> 第2回内容: <u>研究方法のデザインをする</u> 第3回項目: <u>研究計画作成2</u> 第3回内容: <u>研究を行うに必要な研究方法の検討</u> 第4回項目: <u>実験1</u> 第4回内容: <u>特別研究Ⅲの実験計画に参考となる論文をまとめてプレゼンテーションする</u> 第5回項目: <u>実験2</u> 第5回内容: <u>研究計画を作成する</u> 第6回項目: <u>実験3</u> 第6回内容: <u>研究計画を作成する</u> 第7回項目: <u>実験4</u> 第7回内容: <u>研究方法に沿って実験を実行する。データ集計を行う</u> 第8回項目: <u>実験5</u> 第8回内容: <u>研究方法に沿って実験を実行する。データ集計を行う</u> 第9回項目: <u>実験6</u> 第9回内容: <u>研究方法に沿って実験を実行する。データ集計を行う</u> 第10回項目: <u>実験7</u> 第10回内容: <u>研究方法に沿って実験を実行する。データ集計を行う</u> 第11回項目: <u>実験8</u> 第11回内容: <u>研究方法に沿って実験を実行する。データ集計を行う</u> 第12回項目: <u>実験9</u> 第12回内容: <u>研究方法に沿って実験を実行す</u>

<p>をまとめる 第13回項目：<u>結果をまとめる7</u> 第13回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第14回項目：<u>結果をまとめる8</u> 第14回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第15回項目：<u>結果をまとめる9</u> 第15回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第16回項目：<u>結果をまとめる10</u> 第16回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第17回項目：<u>結果をまとめる11</u> 第17回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第18回項目：<u>結果をまとめる12</u> 第18回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第19回項目：<u>結果をまとめる13</u> 第19回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第20回項目：<u>結果をまとめる14</u> 第20回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第21回項目：<u>結果をまとめる15</u> 第21回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる</u> 第22回項目：<u>結果の考察1</u> 第22回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果から考察をまとめる</u> 第23回項目：<u>結果の考察2</u> 第23回内容：<u>特別研究Ⅲで実施した研究結果から考察をまとめる</u> 第24回項目：<u>結果の考察3</u> 第24回内容：<u>まとめた考察について、プレゼンテーションする</u> 第25回項目：<u>結果の結論1</u> 第25回内容：<u>特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討</u> 第26回項目：<u>結果の結論2</u> 第26回内容：<u>特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討</u> 第27回項目：<u>結果の結論3</u> 第27回内容：<u>結論について、プレゼンテーションする</u> 第28回項目：<u>研究成果発表1</u> 第28回内容：<u>研究成果の発表方法を検討する</u> 第29回項目：<u>研究成果発表2</u> 第29回内容：<u>研究発表を検討する</u> 第30回内容：<u>本研究を総括としてまとめてプレゼンテーションする</u></p>	<p>る。<u>データ集計を行う</u> 第13回項目：<u>実験10</u> 第13回内容：<u>研究方法に沿って実験を実行する。データ集計を行う</u> 第14回項目：<u>データ集計1</u> 第14回内容：<u>データをまとめる</u> 第15回項目：<u>データ集計2</u> 第15回内容：<u>データをまとめる</u> 第16回項目：<u>統計学的検討1</u> 第16回内容：<u>統計学的検討を行う</u> 第17回項目：<u>統計学的検討2</u> 第17回内容：<u>統計学的検討を行う</u> 第18回項目：<u>表・グラフの作成1</u> 第18回内容：<u>表やグラフを作成する</u> 第19回項目：<u>考察1</u> 第19回内容：<u>結果を考察する</u> 第20回項目：<u>考察2</u> 第20回内容：<u>結果を考察する</u> 第21回項目：<u>考察3</u> 第21回内容：<u>結果を考察する</u> 第22回項目：<u>(追記) 考察4</u> 第22回内容：<u>結果を考察する・研究の限界を検討する</u> 第23回項目：<u>(追記) 考察5</u> 第23回内容：<u>結果を考察する・研究の限界を検討する</u> 第24回項目：<u>結論1</u> 第24回内容：<u>結論をまとめる</u> 第25回項目：<u>英文の作成1</u> 第25回内容：<u>英文のタイトル・抄録を作成する</u> 第26回項目：<u>英文の作成2</u> 第26回内容：<u>英文のタイトル・抄録を作成する</u> 第27回項目：<u>英文の作成3</u> 第27回内容：<u>英文のタイトル・抄録を作成する</u> 第28回項目：<u>投稿準備1</u> 第28回内容：<u>編集長への手紙を作成する</u> 第29回項目：<u>投稿準備2</u> 第29回内容：<u>査読者への手紙を作成する</u> 第30回内容：<u>実践した研究のプレゼンテーションを行う</u></p>
---	--

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習Ⅲ」シラバス

新	旧
山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当	山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当
講義概要・目標 特別演習Ⅰ・Ⅱで行った研究計画の立案・実行	講義概要・目標 (追記)研究計画の立案・実行方法、論文の書

<p>方法、論文の書き方など、研究を遂行するために必要な研究推進能力を用いて、論文を作成する。</p>	<p>き方など、研究を遂行するために必要な研究推進能力をアップデートする。研究に必要な文献を引用する。研究のオリジナリティや limitation、グラフや表を作成する。研究方法、結果、考察、結論、limitation などの論文の書き方を含め研究遂行のための研究推進能力をアップデートする。</p>
<p>GI0：研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な研究推進能力を用いて論文を作成する。</p>	<p>GI0：研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な研究推進能力を習得する。</p>
<p>講義計画・内容 第9回項目：<u>（削除）</u> 実験 1 第9回内容：<u>（削除）</u> 実験を行い検証する 第10回項目：<u>（削除）</u> 実験 2 第10回内容：<u>（削除）</u> 実験を行い検証する 第11回項目：<u>（削除）</u> 実験 3 第11回内容：<u>（削除）</u> 実験を行い検証する 第12回項目：<u>（削除）</u> 実験 4 第12回内容：<u>（削除）</u> 実験を行い検証する 第13回内容：<u>（削除）</u> 実験結果をまとめる 第14回内容：<u>（削除）</u> 実験結果をまとめる 第15回内容：<u>（削除）</u> 実験結果をまとめる 第16回内容：<u>（削除）</u> 実験結果をまとめる</p>	<p>講義計画・内容 第9回項目：<u>予備</u>実験 1 第9回内容：<u>実験</u>を行い検証する 第10回項目：<u>予備</u>実験 2 第10回内容：<u>実験</u>を行い検証する 第11回項目：<u>予備</u>実験 3 第11回内容：<u>実験</u>を行い検証する 第12回項目：<u>予備</u>実験 4 第12回内容：<u>予備</u>実験を行い検証する 第13回内容：<u>予備</u>実験結果をまとめる 第14回内容：<u>予備</u>実験結果をまとめる 第15回内容：<u>予備</u>実験結果をまとめる 第16回内容：<u>予備</u>実験結果をまとめる</p>

（新旧対照表）「救急災害医療学特別演習Ⅲ」シラバス

新	旧
<p>中里 浩一、鴻崎 香里奈担当</p>	<p>中里 浩一、鴻崎 香里奈担当</p>
<p>講義概要・目標 本講義では<u>過去に提出された複数の博士学位請求論文を読み込むことにより、博士学位請求論文を作成するために必要な考え方を学ぶ。精読する博士学位論文は講義担当者が指定するものとするが、生理学、生化学、細胞生物学に関連し過去に講義担当者が関与した学位論文とする。本講義の最終的な目標は博士学位請求論文を作成するために必要な知識と技能を習得することにある。</u></p>	<p>講義概要・目標 本講義では<u>自身の博士学位請求論文を作成するために必要な考え方を学ぶ。救急災害医療学特別演習 II および III（以下特別演習 II および特別演習 III）と関連させながら本講義は展開される。本講義の最終的な目標は博士学位請求論文を作成するために必要な知識と技能を習得することにある。</u></p>
<p>履修注意 <u>講義担当者が指定した博士学位論文を事前に精読することが要求される。受講者は入念な講義への準備が求められる。</u></p>	<p>履修注意 <u>基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。</u></p>
<p>講義計画・内容 第1回内容：<u>本講義の進め方や全体像の概説を行う</u> 第2回項目：<u>博士論文1精読1</u> 第2回内容：<u>博士論文1における general introduction の関連論文を紹介する</u> 第3回項目：<u>博士論文1精読2</u> 第3回内容：<u>博士論文1における小テーマ1（各 chapter）の関連論文を紹介する</u> 第4回項目：<u>博士論文1精読3</u> 第4回内容：<u>博士論文1における小テーマ2（各 chapter）の関連論文を紹介する</u> 第5回項目：<u>博士論文1精読4</u> 第5回内容：<u>博士論文1における小テーマ3</u></p>	<p>講義計画・内容 第1回内容：<u>（追記）</u> 第2回項目：<u>小テーマ3の論文作成1</u> 第2回内容：<u>小テーマ3の実験データ計画をプレゼン、議論する</u> 第3回項目：<u>小テーマ3の論文作成2</u> 第3回内容：<u>小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する1</u> 第4回項目：<u>小テーマ3の論文作成3</u> 第4回内容：<u>小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する2</u> 第5回項目：<u>小テーマ3の論文作成4</u> 第5回内容：<u>小テーマ3の実験データをプレゼン</u></p>

<p>(各 chapter) の関連論文を紹介する 第 6 回項目：博士論文 1 精読 5 第 6 回内容：博士論文 1 における general discussion の関連論文を紹介する</p> <p>第 7 回項目：博士論文 1 精読 6 第 7 回内容：博士論文 1 を通読することで博士論文 1 の論理構成を議論する</p> <p>第 8 回項目：博士論文 2 精読 1 第 8 回内容：博士論文 2 における general introduction の関連論文を紹介する</p> <p>第 9 回項目：博士論文 2 精読 2 第 9 回内容：博士論文 2 における小テーマ 1 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 10 回項目：博士論文 2 精読 3 第 10 回内容：博士論文 2 における小テーマ 2 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 11 回項目：博士論文 2 精読 4 第 11 回内容：博士論文 2 における小テーマ 3 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 12 回項目：博士論文 2 精読 5 第 12 回内容：博士論文 2 における general discussion の関連論文を紹介する</p> <p>第 13 回項目：博士論文 2 精読 6 第 13 回内容：博士論文 2 を通読することで博士論文 1 の論理構成を議論する</p> <p>第 14 回項目：博士論文 3 精読 1 第 14 回内容：博士論文 3 における general introduction の関連論文を紹介する</p> <p>第 15 回項目：博士論文 3 精読 2 第 15 回内容：博士論文 3 における小テーマ 1 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 16 回項目：博士論文 3 精読 3 第 16 回内容：博士論文 3 における小テーマ 2 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 17 回項目：博士論文 3 精読 4 第 17 回内容：博士論文 3 における小テーマ 3 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 18 回項目：博士論文 3 精読 5 第 18 回内容：博士論文 3 における general discussion の関連論文を紹介する</p> <p>第 19 回項目：博士論文 3 精読 6 第 19 回内容：博士論文 3 を通読することで博士論文 1 の論理構成を議論する</p> <p>第 20 回項目：博士論文 4 精読 1 第 20 回内容：博士論文 4 における general introduction の関連論文を紹介する</p> <p>第 21 回項目：博士論文 4 精読 2 第 21 回内容：博士論文 4 における小テーマ 1 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 22 回項目：博士論文 4 精読 3 第 22 回内容：博士論文 4 における小テーマ 2 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 23 回項目：博士論文 4 精読 4 第 23 回内容：博士論文 4 における小テーマ 3 (各 chapter) の関連論文を紹介する</p> <p>第 24 回項目：博士論文 4 精読 5 第 24 回内容：博士論文 4 における general discussion の関連論文を紹介する</p>	<p>ン、議論する 3 第 6 回項目：小テーマ 3 の論文作成 5 第 6 回内容：特別演習 II によるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する</p> <p>第 7 回項目：小テーマ 3 の論文作成 6 第 7 回内容：小テーマ 3 における実験手法の確認を行う</p> <p>第 8 回項目：小テーマ 3 の論文作成 7 第 8 回内容：小テーマ 3 におけるデータから考察を行う 1</p> <p>第 9 回項目：小テーマ 3 の論文作成 8 第 9 回内容：小テーマ 3 におけるデータから考察を行う 2</p> <p>第 10 回項目：小テーマ 3 まとめ 第 10 回内容：小テーマ 3 のまとめを行う</p> <p>第 11 回項目：General introduction1 第 11 回内容：General introduction に必要な文献のレビューを行う 1</p> <p>第 12 回項目：General introduction2 第 12 回内容：General introduction に必要な文献のレビューを行う 2</p> <p>第 13 回項目：General introduction3 第 13 回内容：General introduction に必要な文献のレビューを行う 3</p> <p>第 14 回項目：General introduction4 第 14 回内容：General introduction 全体の構成を検討する 1</p> <p>第 15 回項目：General introduction5 第 15 回内容：General introduction 全体の構成を検討する 2</p> <p>第 16 回項目：小テーマ 1 第 16 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 1 の再検討を行う 1</p> <p>第 17 回項目：小テーマ 1 第 17 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 1 の再検討を行う 2</p> <p>第 18 回項目：小テーマ 1 第 18 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 1 の再検討を行う 3</p> <p>第 19 回項目：小テーマ 2 第 19 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 2 の再検討を行う 1</p> <p>第 20 回項目：小テーマ 2 第 20 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 2 の再検討を行う 2</p> <p>第 21 回項目：小テーマ 2 第 21 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 2 の再検討を行う 3</p> <p>第 22 回項目：小テーマ 3 第 22 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 3 の再検討を行う 1</p> <p>第 23 回項目：小テーマ 3 第 23 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 3 の再検討を行う 2</p> <p>第 24 回項目：小テーマ 3 第 24 回内容：学位論文全体の中での小テーマ 3 の再検討を行う 3</p>
---	--

<p>第 25 回項目：<u>博士論文 4 精読 6</u> 第 25 回内容：<u>博士論文 4 を通読することで博士論文 1 の論理構成を議論する</u> 第 26 回項目：<u>博士論文 1 再読</u> 第 26 回内容：<u>博士論文 1 の論理構造を再度議論する</u> 第 27 回項目：<u>博士論文 2 再読</u> 第 27 回内容：<u>博士論文 2 の論理構造を再度議論する</u> 第 28 回項目：<u>博士論文 3 再読</u> 第 28 回内容：<u>博士論文 3 の論理構造を再度議論する</u> 第 29 回項目：<u>博士論文 4 再読</u> 第 29 回内容：<u>博士論文 4 の論理構造を再度議論する</u> 第 30 回内容：<u>自分自身の博士学位請求論文に関してその構造を発表、議論する</u></p>	<p>第 25 回項目：<u>General discussion1</u> 第 25 回内容：<u>General discussion に必要な文献のレビューを行う 1</u> 第 26 回項目：<u>General discussion2</u> 第 26 回内容：<u>General discussion に必要な文献のレビューを行う 2</u> 第 27 回項目：<u>General discussion3</u> 第 27 回内容：<u>General discussion に必要な文献のレビューを行う 3</u> 第 28 回項目：<u>General discussion4</u> 第 28 回内容：<u>General discussion 全体の構成を検討する 1</u> 第 29 回項目：<u>General discussion5</u> 第 29 回内容：<u>General discussion 全体の構成を検討する 2</u> 第 30 回内容：<u>学位論文全体の構成を再確認する。</u></p>
---	---

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別演習Ⅲ」シラバス

新	旧
<p>小林 正利、遠藤 直哉担当 講義概要・目標 特別演習Ⅱに引き続き、各人の<u>救急医療災害分野に関連する形態研究</u>の国内および国外の原著論文を検索・精読し、ディスカッションを行う。<u>博士論文を作成に関連する引用文献を検討しながら項目ごとに内容を検討・演習していく。</u></p> <p>履修注意 事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度を総合的に評価する。</p> <p>講義計画・内容 第 2 回項目：<u>目的に関する先行研究 1</u> 第 2 回内容：<u>目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する 1。</u> 第 3 回項目：<u>目的に関する先行研究 2</u> 第 3 回内容：<u>目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する 2。</u> 第 4 回項目：<u>目的に関する先行研究 3</u> 第 4 回内容：<u>目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する 3。</u> 第 5 回項目：<u>目的に関する先行研究 4</u> 第 5 回内容：<u>目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する 4。</u> 第 6 回項目：<u>目的に関する先行研究 5</u> 第 6 回内容：<u>目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する 5。</u> 第 7 回項目：<u>目的の概要まとめ</u> 第 7 回内容：<u>目的の段落構成および論理構成について演習する。</u> 第 8 回項目：<u>方法に関する先行研究 1</u> 第 8 回内容：<u>方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う 1。</u> 第 9 回項目：<u>方法に関する先行研究 2</u> 第 9 回内容：<u>方法について蒐集した論文を抄読</u></p>	<p>小林 正利、遠藤 直哉担当 講義概要・目標 特別演習Ⅱに引き続き、各人の<u>研究関連領域に関連する解剖学・組織学研究</u>の国内および国外の原著論文を検索・精読し、ディスカッションを行う。<u>ひとつの原著論文を 3 週 (内容のプレゼンテーション、結果及び考察の是非、総合討論) にわたって取り扱う。</u></p> <p>履修注意 事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。</p> <p>講義計画・内容 第 2 回項目：<u>関連論文 1 - 1</u> 第 2 回内容：<u>論文 1 の目的について精読する。</u> 第 3 回項目：<u>関連論文 1 - 2</u> 第 3 回内容：<u>論文 1 の方法、結果について精読する。</u> 第 4 回項目：<u>関連論文 1 - 3</u> 第 4 回内容：<u>論文 1 の考察について精読し討論する。</u> 第 5 回項目：<u>関連論文 2 - 1</u> 第 5 回内容：<u>論文 2 の目的について精読する。</u> 第 6 回項目：<u>関連論文 2 - 2</u> 第 6 回内容：<u>論文 2 の方法、結果について精読する。</u> 第 7 回項目：<u>関連論文 2 - 3</u> 第 7 回内容：<u>論文 2 の考察について精読し討論する。</u> 第 8 回項目：<u>関連論文 3 - 1</u> 第 8 回内容：<u>論文 3 の目的について精読する。</u> 第 9 回項目：<u>関連論文 3 - 2</u> 第 9 回内容：<u>論文 3 の方法、結果について精読</u></p>

<p>し方法論作成の演習を行う2。 第10回項目：<u>方法に関する先行研究3</u> 第10回内容：<u>方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う3。</u> 第11回項目：<u>方法に関する先行研究4</u> 第11回内容：<u>方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う4。</u> 第12回項目：<u>方法に関する先行研究5</u> 第12回内容：<u>方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う5。</u> 第13回項目：<u>方法の概要まとめ</u> 第13回内容：<u>目的の段落構成および論理構成について演習する。</u> 第14回項目：<u>結果の作成演習1</u> 第14回内容：<u>効果的な図表の作成法について蒐集した論文を抄読し演習する1。</u> 第15回項目：<u>結果の作成演習2</u> 第15回内容：<u>効果的な図表の作成法について蒐集した論文を抄読し演習する2。</u> 第16回項目：<u>結果の作成演習3</u> 第16回内容：<u>統計手法について蒐集した論文を抄読し演習する1。</u> 第17回項目：<u>結果の作成演習4</u> 第17回内容：<u>統計手法について蒐集した論文を抄読し演習する2。</u> 第18回項目：<u>結果の作成演習5</u> 第18回内容：<u>結果の文章構成について演習する。</u> 第19回項目：<u>結果の概要まとめ</u> 第19回内容：<u>結果の段落構成および論理構成について演習する。</u> 第20回項目：<u>考察に関する先行研究1</u> 第20回内容：<u>考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する1。</u> 第21回項目：<u>考察に関する先行研究2</u> 第21回内容：<u>考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する2。</u> 第22回項目：<u>考察に関する先行研究3</u> 第22回内容：<u>考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する3。</u> 第23回項目：<u>考察に関する先行研究4</u> 第23回内容：<u>考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する4。</u> 第24回項目：<u>考察に関する先行研究5</u> 第24回内容：<u>考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する5。</u> 第25回項目：<u>考察の概要まとめ1</u> 第25回内容：<u>考察の段落構成および論理構成をについて演習する1。</u> 第26回項目：<u>考察の概要まとめ2</u> 第26回内容：<u>考察の段落構成および論理構成をについて演習する2。</u> 第27回項目：<u>結論・まとめの作成演習1</u> 第27回内容：<u>蒐集した論文の中からまとめ方を紹介し、演習する1。</u> 第28回項目：<u>結論・まとめの作成演習2</u> 第28回内容：<u>蒐集した論文の中からまとめ方を紹介し、演習する2。</u> 第29回項目：<u>参考文献のまとめ方1</u></p>	<p>する。 第10回項目：<u>関連論文3-3</u> 第10回内容：<u>論文3の考察について精読し討論する。</u> 第11回項目：<u>関連論文4-1</u> 第11回内容：<u>論文4の目的について精読する。</u> 第12回項目：<u>関連論文4-2</u> 第12回内容：<u>論文4の方法、結果について精読する。</u> 第13回項目：<u>関連論文4-3</u> 第13回内容：<u>論文4の考察について精読し討論する。</u> 第14回項目：<u>関連論文5-1</u> 第14回内容：<u>論文5の目的について精読する。</u> 第15回項目：<u>関連論文5-2</u> 第15回内容：<u>論文5の方法、結果について精読する。</u> 第16回項目：<u>関連論文5-3</u> 第16回内容：<u>論文5の考察について精読し討論する。</u> 第17回項目：<u>関連論文6-1</u> 第17回内容：<u>論文6の目的について精読する。</u> 第18回項目：<u>関連論文6-2</u> 第18回内容：<u>論文6の方法、結果について精読する。</u> 第19回項目：<u>関連論文6-3</u> 第19回内容：<u>論文6の考察について精読し討論する。</u> 第20回項目：<u>関連論文7-1</u> 第20回内容：<u>論文7の目的について精読する。</u> 第21回項目：<u>関連論文7-2</u> 第21回内容：<u>論文7の方法、結果について精読する。</u> 第22回項目：<u>関連論文7-3</u> 第22回内容：<u>論文7の考察について精読し討論する。</u> 第23回項目：<u>関連論文8-1</u> 第23回内容：<u>論文8の目的について精読する。</u> 第24回項目：<u>関連論文8-2</u> 第24回内容：<u>論文8の方法、結果について精読する。</u> 第25回項目：<u>関連論文8-3</u> 第25回内容：<u>論文8の考察について精読し討論する。</u> 第26回項目：<u>関連論文9-1</u> 第26回内容：<u>論文9の目的について精読する。</u> 第27回項目：<u>関連論文9-2</u> 第27回内容：<u>論文9の方法、結果について精読する。</u> 第28回項目：<u>関連論文9-3</u> 第28回内容：<u>論文9の考察について精読し討論する。</u> 第29回項目：<u>(追記)まとめ(追記)1</u></p>
---	---

<p>第 29 回内容：論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を演習する 1。</p> <p>第 30 回項目：参考文献のまとめ方 2</p> <p>第 30 回内容：論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を演習する 1。</p> <p>教科書・参考書 必要に応じて掲示する。</p>	<p>第 29 回内容：特に注目すべき論文について振り返る。</p> <p>第 30 回項目：(追記)まとめ(追記) 2</p> <p>第 30 回内容：特に注目すべき論文について振り返る。</p> <p>教科書・参考書 特になし。</p>
---	---

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究 I」 シラバス

新	旧
平沼 憲治、舟橋 厚、平沼 直人担当	平沼 憲治、舟橋 厚、平沼 直人担当
<p>講義計画・内容</p> <p>第 7 回項目：研究倫理</p> <p>第 7 回内容：研究倫理申請書を作成する。</p> <p>第 8 回項目：研究倫理</p> <p>第 8 回内容：研究倫理申請書を作成する。</p>	<p>講義計画・内容</p> <p>第 7 回項目：研究計画の作成</p> <p>第 7 回内容：研究計画・行程表を作成する</p> <p>第 8 回項目：予備研究準備</p> <p>第 8 回内容：予備研究に必要な準備・調整を行う</p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究 I」 シラバス

新	旧
小川 理郎、後藤 真吏奈担当	小川 理郎、後藤 真吏奈担当
<p>講義概要・目標</p> <p>GIO：特別研究 I では、博士論文を作成する第一段階として、研究計画をするうえで必要となる研究手法および申請書類の作成方法などを修得する。特に基礎研究の手法を用いた実験手法を体験することで、研究手法として基礎実験の可能性を学ぶ。また、医療及び研究技術はまさに日進月歩である。医療及び研究技術の飛躍的進歩にともなう知識のアップデート方法を学ぶ。</p> <p>SBO：</p> <p>①リサーチクエッションを解決するのに最適な研究手法を選択できる。</p> <p>②研究倫理を正しく理解し、それにのっとった研究計画および実施ができる。</p> <p>③研究不正行為について対策ができる。 (削除)</p> <p>履修注意</p> <p>基礎研究の手法を用いた研究計画と実施、データ解析を行います。担当の講義回では、動きやすい服装で参加してください。</p> <p>講義計画・内容</p> <p>第 1 回項目：オリエンテーション</p> <p>第 1 回内容：講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する</p> <p>第 2 回項目：研究倫理</p> <p>第 2 回内容：医療研究者に求められる倫理観と関連する法律について説明する</p> <p>第 3 回項目：研究不正行為の対策</p> <p>第 3 回内容：研究不正行為への対策を検討する</p> <p>第 4 回項目：研究の種類</p> <p>第 4 回内容：医療分野の研究で用いられる研究</p>	<p>講義概要・目標</p> <p>GIO：研究倫理について習得する。</p> <p>SBO：</p> <p>①人や動物を対象とした研究倫理を習得する。</p> <p>②研究に関するインフォームドコンセント、データの保管について習得する。</p> <p>③研究不正行為について対策ができる。</p> <p>④倫理審査書類が作成できる。</p> <p>履修注意</p> <p>研究不正行為への対応策についてプレゼンテーションしてください。</p> <p>倫理審査書類を作成してください。</p> <p>講義計画・内容</p> <p>第 1 回項目：研究倫理 1</p> <p>第 1 回内容：人権と倫理</p> <p>第 2 回項目：研究倫理 2</p> <p>第 2 回内容：人を対象とした研究倫理</p> <p>第 3 回項目：研究倫理 3</p> <p>第 3 回内容：人を対象とした研究倫理</p> <p>第 4 回項目：研究倫理 4</p> <p>第 4 回内容：動物を対象とした研究倫理</p>

<p>手法について説明する</p> <p>第5回項目：研究手法 1</p> <p>第5回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）動物実験</p> <p>第6回項目：研究手法 2</p> <p>第6回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）動物実験</p> <p>第7回項目：研究手法 3</p> <p>第7回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）遺伝子</p> <p>第8回項目：研究手法 4</p> <p>第8回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）遺伝子</p> <p>第9回項目：研究手法 5</p> <p>第9回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）タンパク質</p> <p>第10回項目：研究手法 6</p> <p>第10回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）タンパク質</p> <p>第11回項目：研究手法 7</p> <p>第11回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）免疫組織学的手法</p> <p>第12回項目：研究手法 8</p> <p>第12回内容：基礎研究（実験計画、データの採取および解析）免疫組織学的手法</p> <p>第13回項目：研究手法および知識のアップデート方法</p> <p>第13回内容：研究分野の知識や研究手法をアップデートする方法を説明する</p> <p>第14回項目：データ分析 1</p> <p>第14回内容：研究手法の講義回で得られた実験結果を用いて、データの分析方法を学ぶ</p> <p>第15回項目：統計解析 1</p> <p>第15回内容：データ解析に必要な統計知識を説明する</p> <p>第16回項目：統計解析 2</p> <p>第16回内容：データ解析に必要な統計知識を説明する</p> <p>第17回項目：研究計画 1</p> <p>第17回内容：特別演習 I で設定したリサーチクエッションに対する実験計画を立てる</p> <p>第18回項目：研究計画 2</p> <p>第18回内容：特別演習 I で設定したリサーチクエッションに対する実験計画を立てる</p> <p>第19回項目：研究準備 1</p> <p>第19回内容：予備実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする</p> <p>第20回項目：研究準備 2</p> <p>第20回内容：予備実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う</p> <p>第21回項目：予備実験 1</p> <p>第21回内容：予備実験を行い検証する</p> <p>第22回項目：予備実験 2</p> <p>第22回内容：予備実験を行い検証する</p> <p>第23回項目：予備実験 3</p> <p>第23回内容：予備実験を行い検証する</p> <p>第24回項目：予備実験 4</p> <p>第24回内容：予備実験を行い検証する</p> <p>第25回項目：予備実験 5</p>	<p>第5回項目：研究倫理 5</p> <p>第5回内容：共同研究</p> <p>第6回項目：研究倫理 6</p> <p>第6回内容：共同研究</p> <p>第7回項目：研究倫理 7</p> <p>第7回内容：利益相反と研究資金獲得</p> <p>第8回項目：研究倫理 8</p> <p>第8回内容：利益相反と研究資金獲得</p> <p>第9回項目：研究倫理 9</p> <p>第9回内容：インフォームドコンセント</p> <p>第10回項目：研究倫理 10</p> <p>第10回内容：インフォームドコンセント</p> <p>第11回項目：研究倫理 11</p> <p>第11回内容：データの保管方法</p> <p>第12回項目：研究倫理 12</p> <p>第12回内容：データの保管方法</p> <p>第13回項目：研究倫理 13</p> <p>第13回内容：個人情報の保護と守秘義務</p> <p>第14回項目：研究倫理 14</p> <p>第14回内容：個人情報の保護と守秘義務</p> <p>第15回項目：研究倫理 15</p> <p>第15回内容：研究不正行為</p> <p>第16回項目：研究倫理 16</p> <p>第16回内容：研究不正行為</p> <p>第17回項目：研究倫理 17</p> <p>第17回内容：研究不正行為</p> <p>第18回項目：研究倫理 18</p> <p>第18回内容：オーサーシップ</p> <p>第19回項目：研究倫理 19</p> <p>第19回内容：オーサーシップ</p> <p>第20回項目：研究倫理 20</p> <p>第20回内容：二重投稿・二重出版・著作権</p> <p>第21回項目：研究倫理 21</p> <p>第21回内容：二重投稿・二重出版・著作権</p> <p>第22回項目：研究倫理 22</p> <p>第22回内容：二重投稿・二重出版・著作権</p> <p>第23回項目：研究倫理 23</p> <p>第23回内容：結果の還元方法</p> <p>第24回項目：研究倫理 24</p> <p>第24回内容：結果の還元方法</p> <p>第25回項目：倫理審査書類の作成 1</p>
---	---

第 25 回内容： <u>予備実験を行い検証する</u>	第 25 回内容： <u>インフォームドコンセントの方法を検討する</u>
第 26 回項目： <u>予備実験 6</u>	第 26 回項目： <u>倫理審査書類の作成 2</u>
第 26 回内容： <u>予備実験を行い検証する</u>	第 26 回内容： <u>インフォームドコンセントの方法を検討する</u>
第 27 回項目： <u>予備実験 7</u>	第 27 回項目： <u>倫理審査書類の作成 3</u>
第 27 回内容： <u>予備実験を行い検証する</u>	第 27 回内容： <u>倫理委員会に提出する書類を作成する</u>
第 28 回項目： <u>予備実験 8</u>	第 28 回項目： <u>倫理審査書類の作成 4</u>
第 28 回内容： <u>予備実験を行い検証する</u>	第 28 回内容： <u>倫理委員会に提出する書類を作成する</u>
第 29 回項目： <u>予備実験の結果解析</u>	第 29 回項目： <u>研究不正行為の対策</u>
第 29 回内容： <u>予備実験の結果を解析してレポートを作成する</u>	第 29 回内容： <u>研究不正行為への対策を検討する</u>
第 30 回項目： <u>予備実験結果の発表</u>	第 30 回項目： <u>研究不正行為の対策</u>
第 30 回内容： <u>予備実験の結果をプレゼンテーションする</u>	第 30 回内容： <u>研究不正行為への対策を検討する</u>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究 I」シラバス

新	旧
山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当	山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当
講義概要・目標 GIO: 研究計画の立案・実行に必須の研究倫理、医療統計、論文の書き方、Journal の評価について習得する。 SBOs : ① 研究に関する様々な関連法令や諸規定を厳守できる。 ② 研究計画書が作成できる ③ 学術誌の評価ができる。	講義概要・目標 <u>(追記)</u> 研究計画の立案・実行に必須の研究倫理、医療統計、論文の書き方、Journal の評価について習得する。 <u>(追記)</u>
履修注意 <u>プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。</u>	履修注意 <u>(追記)</u>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究 I」シラバス

新	旧
中里 浩一、鴻崎 香里奈担当	中里 浩一、鴻崎 香里奈担当
講義概要・目標 本講義は救急災害医療学特別演習 I (以下特別演習 I) に対応して、保健医療学分野に関する国内及び海外の文献を蒐集し、指導教員との討論を通じて博士学位論文を構成する小研究テーマ関連分野の理解を深める。 本講義の最終的な目標は学位論文の作成に必要な背景となる知識を自身が蒐集した原著論文を精読し発表することにより、自身の学位論文作成に必要な知識を得ることと文献収集の技法を体得することにある。	講義概要・目標 保健医療学分野に限らず近年の高いインパクトを持つバイオ系国際原著論文は生化学から生理学まで幅広い学問領域および対象を横断しながら総合的にデータを提示し論文をまとめることが必須である。本講義では研究小テーマに関連する先行文献を中心としながらも救急災害医療の基礎分野である生理学、生化学、細胞生物学、分子生物学等の原著論文の関連論文を紹介する。本講義の最終目標は国際的な批判に耐えうる原著論文を作成する基礎能力を獲得することである。
履修注意 <u>基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。</u>	履修注意 <u>指定された評価の高い国際原著論文を事前に読み込むことが必須である。講義時には講義担当者から内容に関する解説をするとともに、論理構造やデータの解釈や過不足に関する議論を行う。</u>

新	旧
<p>小林 正利、遠藤 直哉担当</p> <p>講義概要・目標 救急災害医療学のうち形態研究に関連して立案した研究計画の予備実験を行い、研究を行うために必要な基礎能力を習得する事を目標とする。</p> <p>形態学の実験データを集積・解析し検証する。博士論文作成の前段階として目的、方法、結果、図表などをまとめ、学会または論文にまとめて発表する。</p> <p>履修注意 計画的に予備実験を行うこと。</p> <p>講義計画・内容 第4回内容：指導教員とディスカッションしながら研究課題を決定する。 第5回内容：研究課題を進めていくための先行研究を検索し検討する。 第6回内容：研究課題を進めていくための先行研究を検索し検討する。 第7回内容：研究課題を進めていくための先行研究を検索し検討する。 第16回内容：実験結果の所見分析を行う。 第17回内容：実験結果の所見分析を行う。 第18回内容：実験結果から計測分析を行う。 第19回内容：実験結果から計測分析を行う。 第20回内容：実験結果の統計分析を行う。 第21回内容：実験結果の統計分析を行う。 第22回内容：得られた実験結果から考察の項目を検討する。 第23回内容：得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察を行う。 第24回内容：得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察を行う。 第25回内容：得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察を行う。 第26回内容：得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察をまとめる。 第29回内容：得られたデータを学会で発表する準備をまとめる。</p> <p>教科書・参考書 必要に応じて提示する。</p>	<p>小林 正利、遠藤 直哉担当</p> <p>講義概要・目標 解剖学・組織学に関連して立案した研究計画の予備実験を行い、研究を行うために必要な基礎能力を習得する(追記)。 形態学(追記)データを集積し、解析し検証する。目的、方法、結果、図表などを(追記)学会または論文にまとめて発表する。</p> <p>履修注意 (追記)</p> <p>講義計画・内容 第4回内容：指導教員とディスカッションしながら研究課題を選定していく。 第5回内容：研究課題を進めていくための先行研究を(追記)検討する。 第6回内容：研究課題を進めていくための先行研究を(追記)検討する。 第7回内容：研究課題を進めていくための先行研究を(追記)検討する。 第16回内容：実験結果の(追記)分析を行う。 第17回内容：実験結果の(追記)分析を行う。 第18回内容：実験結果から(追記)分析を行う。 第19回内容：実験結果から(追記)分析を行う。 第20回内容：実験結果の(追記)分析を行う。 第21回内容：実験結果の(追記)分析を行う。 第22回内容：得られた実験結果から考察を行う。 第23回内容：得られた実験結果から(追記)考察を行う。 第24回内容：得られた実験結果から(追記)考察を行う。 第25回内容：得られた実験結果から(追記)考察を行う。 第26回内容：得られた実験結果から(追記)考察を行う。 第29回内容：得られたデータを学会で発表する準備をする。</p> <p>教科書・参考書 特になし。</p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅱ」シラバス

新	旧
<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO：研究者は、研究成果を自己満足で終わらせるのではなく、社会に発信することで、人類共通の知として活かすことを求められる。研究成果の発信方法を学び、特に博士論文作成で必要となる、和・英論文の作成方法を修得する。</p>	<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO：研究実行に必要な能力をアップデートする。</p>

<p>SB0 :</p> <p>① <u>研究結果を論文としてまとめることができる。</u></p> <p>② <u>和文・英文雑誌の投稿要領にしたがって、論文を作成できる。</u></p> <p>③ <u>研究内容を分かりやすく発表できる。</u></p> <p>履修注意 <u>分からないことや疑問が生じた場合は、そのままにせず、すぐに質問をして解決して下さい。</u></p> <p>講義計画・内容 第2回項目：<u>実験のリサーチクエッションを設定する</u> 第2回内容：<u>特別研究Ⅰの予備実験の結果を基に、本実験のリサーチクエッションを再設定する</u> 第3回項目：<u>実験計画1</u> 第3回内容：<u>リサーチクエッションに対する実験の実験計画を立てる</u> 第4回項目：<u>実験計画2</u> 第4回内容：<u>リサーチクエッションに対する実験の実験計画を立てる</u> 第5回項目：<u>実験準備1</u> 第5回内容：<u>実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする</u> 第6回項目：<u>実験準備2</u> 第6回内容：<u>実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う</u> 第7回項目：<u>実験1</u> 第7回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第8回項目：<u>実験2</u> 第8回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第9回項目：<u>実験3</u> 第9回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第10回項目：<u>実験4</u> 第10回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第11回項目：<u>実験5</u> 第11回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第12回項目：<u>実験6</u> 第12回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第13回項目：<u>実験7</u> 第13回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第14回項目：<u>実験8</u> 第14回内容：<u>実験を行い検証する</u> 第15回項目：<u>実験の結果解析</u> 第15回内容：<u>実験の結果を解析してレポートを作成する</u> 第16回項目：<u>実験結果の発表</u> 第16回内容：<u>実験の結果をプレゼンテーションする</u> 第17回項目：<u>研究成果の発表方法</u> 第17回内容：<u>研究成果の発表方法を説明する</u> 第18回項目：<u>和論文作成方法</u></p>	<p>SB0 :</p> <p>① <u>医療統計が実践できる。</u></p> <p>② <u>Journal の評価ができる。</u></p> <p>③ <u>英語抄録が作成できる。</u></p> <p>履修注意 <u>医療統計についてプレゼンテーションしてください。</u> <u>英語で抄録を作成してください。</u></p> <p>講義計画・内容 第2回項目：<u>医療統計の基礎</u> 第2回内容：<u>仮説と検証のためのデザイン</u> 第3回項目：<u>単純集計</u> 第3回内容：<u>データ収集法</u> 第4回項目：<u>クロス集計</u> 第4回内容：<u>クロス集計を学ぶ</u> 第5回項目：<u>計算を再現1</u> 第5回内容：<u>文献を検索し方法・結果を基に計算が正しいか検証する</u> 第6回項目：<u>計算を再現2</u> 第6回内容：<u>検証結果をプレゼンする</u> 第7回項目：<u>回帰分析</u> 第7回内容：<u>回帰分析を学ぶ</u> 第8回項目：<u>計算を再現3</u> 第8回内容：<u>文献を検索し方法・結果を基に計算が正しいか検証する</u> 第9回項目：<u>計算を再現4</u> 第9回内容：<u>検証結果をプレゼンする</u> 第10回項目：<u>分散分析</u> 第10回内容：<u>分散分析を学ぶ</u> 第11回項目：<u>計算を再現5</u> 第11回内容：<u>文献を検索し方法・結果を基に計算が正しいか検証する</u> 第12回項目：<u>計算を再現6</u> 第12回内容：<u>検証結果をプレゼンする</u> 第13回項目：<u>対応ある/独立サンプルの検定</u> 第13回内容：<u>対応ある/独立サンプルの検定を学ぶ</u> 第14回項目：<u>計算を再現7</u> 第14回内容：<u>文献を検索し方法・結果を基に計算が正しいか検証する</u> 第15回項目：<u>計算を再現8</u> 第15回内容：<u>検証結果をプレゼンする</u> 第16回項目：<u>Journal の評価方法1</u> 第16回内容：<u>Impact factor 等</u> 第17回項目：<u>Journal の評価方法2</u> 第17回内容：<u>投稿規定の比較1</u> 第18回項目：<u>Journal の評価方法3</u></p>
---	--

<p>第 18 回内容：<u>和論文の作成方法を説明する</u> 第 19 回項目：<u>和論文作成 1</u> 第 19 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する</u> 第 20 回項目：<u>和論文作成 2</u> 第 20 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する</u> 第 21 回項目：<u>和論文作成 3</u> 第 21 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する</u> 第 22 回項目：<u>和論文作成 4</u> 第 22 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する</u> 第 23 回項目：<u>英論文作成方法</u> 第 23 回内容：<u>英論文の作成方法を説明する</u> 第 24 回項目：<u>英論文作成 1</u> 第 24 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する</u> 第 25 回項目：<u>英論文作成 2</u> 第 25 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する</u> 第 26 回項目：<u>英論文作成 3</u> 第 26 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する</u> 第 27 回項目：<u>英論文作成 4</u> 第 27 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する</u> 第 28 回項目：<u>英論文作成 5</u> 第 28 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する</u> 第 29 回項目：<u>英論文作成 6</u> 第 29 回内容：<u>特別研究 I および本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する</u> 第 30 回項目：<u>まとめ</u> 第 30 回内容：<u>特別研究 I および II で得られた研究成果の社会への発信方法を議論する</u></p>	<p>第 18 回内容：<u>投稿規定の比較 2</u> 第 19 回項目：<u>Journal の評価方法 4</u> 第 19 回内容：<u>投稿規定の比較 3</u> 第 20 回項目：<u>Journal の評価方法 5</u> 第 20 回内容：<u>投稿規定の比較 4</u> 第 21 回項目：<u>研究論文作成方法 1</u> 第 21 回内容：<u>英語論文の書き方</u> 第 22 回項目：<u>研究論文作成方法 2</u> 第 22 回内容：<u>Introduction の書き方</u> 第 23 回項目：<u>研究論文作成方法 3</u> 第 23 回内容：<u>Method の書き方</u> 第 24 回項目：<u>研究論文作成方法 4</u> 第 24 回内容：<u>Result の書き方</u> 第 25 回項目：<u>研究論文作成方法 5</u> 第 25 回内容：<u>Discussion の書き方</u> 第 26 回項目：<u>研究論文作成方法 6</u> 第 26 回内容：<u>limitation の書き方</u> 第 27 回項目：<u>研究論文作成方法 7</u> 第 27 回内容：<u>Reference の書き方</u> 第 28 回項目：<u>英語抄録作成 1</u> 第 28 回内容：<u>予備実験結果などを基に英語で抄録を作成する</u> 第 29 回項目：<u>英語抄録作成 2</u> 第 29 回内容：<u>予備実験結果などを基に英語で抄録を作成する</u> 第 30 回項目：<u>英語抄録作成 1</u> 第 30 回内容：<u>予備実験結果などを基に英語で抄録を作成する</u></p>
--	--

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究 II」シラバス

新	旧
<p>山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当</p> <p>講義概要・目標 <u>研究の背景（目的）、研究方法、結果、考察を組み立て、論文作成ための基礎能力をアップデートする。</u></p> <p><u>GIO：研究計画に従って実験を行い、結果や考察を論文にまとめるために必要な基礎能力をアップデートする。</u></p> <p><u>SBOs：</u></p>	<p>山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当</p> <p>講義概要・目標 <u>研究計画に従って実験を行い、データ収集・解析し、結果をまとめて考察するなど、実験を実施してから論文にまとめるために必要な基礎能力をアップデートする。</u> <u>具体的には、研究計画を基に実験を行い、得られたデータを統計学的に解析し、解析した結果をもとにグラフや表を作成する。さらに、参考文献等を踏まえ、考察を作成する。</u> <u>これらのプロセスを通じて、研究の背景（目的）、研究方法、結果、考察を組み立て、論文作成ための基礎能力をアップデートする。</u></p> <p><u>（追記）</u></p>

<p>① 研究計画に従い実験ができる ② データを統計学的に検証できる ③ 結果をグラフや表にまとめ文献を用いて考察できる ④ 研究結果や考察をまとめプレゼンテーションできる</p>	
<p>履修注意 <u>プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。</u></p>	<p>履修注意 <u>(追記)</u></p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅱ」シラバス

新	旧
<p>中里 浩一、鴻崎 香里奈担当</p>	<p>中里 浩一、鴻崎 香里奈担当</p>
<p>講義概要・目標 <u>通常自然科学分野における博士学位申請論文は学位申請者が3報程度の原著論文を作成し、それぞれの論文における科学的な結論を組み合わせることで学位申請論文の全体的な結論(大テーマ)を導くことになる。本講義は救急災害医療学特別演習Ⅱ(以下特別演習Ⅱ)に呼応して、学位論文の要素となる複数の研究小テーマ(小テーマ)をレビューすることで設定した小テーマの実験データから各テーマから原著論文の作成の実際を行う。本講義の目的は学位申請論文を形作る原著論文の小テーマから原著論文を作成する過程を学ぶことにある。</u></p>	<p>講義概要・目標 <u>通常自然科学分野における博士学位申請論文は学位申請者が3報程度の原著論文を作成し、それぞれの論文における科学的な結論を組み合わせることで学位申請論文の全体的な結論(大テーマ)を導くことになる。本講義は<u>そういった学位申請論文の全体構造を意識し、学位論文の要素となる複数の研究小テーマ(小テーマ)に関連する原著論文をレビューすることで自分自身の小テーマの設定を行う。本講義の目的は学位申請論文を形作る原著論文の小テーマに関連する複数の先行研究をまとめることで原著論文の中でも特にイントロダクションにおけるパラグラフィティングの一助とすることである。</u></u></p>
<p>履修注意 <u>基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。</u></p>	<p>履修注意 <u>事前に自分自身で原著論文を蒐集し、かつ複数の先行研究から各小テーマに至る理論を組むことを要求される。</u></p>
<p>講義計画・内容 <u>第1回内容:本講義の進め方や全体像の概説を行う</u> <u>第2回項目:学位論文テーマ構成1</u> <u>第2回内容:学位論文の大テーマについてプレゼン、議論する</u> <u>第3回項目:学位論文テーマ構成2</u> <u>第3回内容:学位論文小テーマ1について議論する。</u> <u>第4回項目:学位論文テーマ構成3</u> <u>第4回内容:学位論文小テーマ1について議論する。</u> <u>第5回項目:学位論文テーマ構成4</u> <u>第5回内容:学位論文小テーマ2について議論する。</u> <u>第6回項目:学位論文テーマ構成5</u> <u>第6回内容:学位論文小テーマ2について議論する。</u> <u>第7回項目:学位論文テーマ構成6</u> <u>第7回内容:学位論文小テーマ3について議論する。</u></p>	<p>講義計画・内容 <u>第1回内容:博士学位請求論文作成へ向けての学位論文全体の構造を議論する</u> <u>第2回項目:小テーマ1の先行研究</u> <u>第2回内容:小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する1</u> <u>第3回項目:小テーマ1の先行研究</u> <u>第3回内容:小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する2</u> <u>第4回項目:小テーマ1の先行研究</u> <u>第4回内容:小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する3</u> <u>第5回項目:小テーマ1の先行研究</u> <u>第5回内容:小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)</u> <u>第6回項目:小テーマ1の先行研究</u> <u>第6回内容:小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)</u> <u>第7回項目:小テーマ1の先行研究</u> <u>第7回内容:小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ</u></p>

<p>第 8 回項目：<u>学位論文テーマ構成 7</u> 第 8 回内容：<u>学位論文小テーマ 3 について議論する。</u></p> <p>第 9 回項目：<u>学位論文テーマ構成 8</u> 第 9 回内容：<u>学位論文の大テーマについて再考する</u></p> <p>第 10 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 1</u> 第 10 回内容：<u>小テーマ 1 の実験データ計画をプレゼン、議論する</u></p> <p>第 11 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 2</u> 第 11 回内容：<u>小テーマ 1 の実験データをプレゼン、議論する 1</u></p> <p>第 12 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 3</u> 第 12 回内容：<u>小テーマ 1 の実験データをプレゼン、議論する 2</u></p> <p>第 13 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 4</u> 第 13 回内容：<u>小テーマ 1 の実験データをプレゼン、議論する 3</u></p> <p>第 14 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 5</u> 第 14 回内容：<u>特別演習 II によるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する</u></p> <p>第 15 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 6</u> 第 15 回内容：<u>小テーマ 1 における実験手法の確認を行う</u></p> <p>第 16 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 7</u> 第 16 回内容：<u>小テーマ 1 におけるデータから考察を行う 1</u></p> <p>第 17 回項目：<u>小テーマ 1 の論文作成 8</u> 第 17 回内容：<u>小テーマ 1 におけるデータから考察を行う 2</u></p> <p>第 18 回項目：<u>小テーマ 1 まとめ</u> 第 18 回内容：<u>小テーマ 1 まとめを行う</u></p> <p>第 19 回項目：<u>小テーマ 2 の論文作成 1</u> 第 19 回内容：<u>小テーマ 2 の実験データ計画をプレゼン、議論する</u></p> <p>第 20 回項目：<u>小テーマ 2 の論文作成 2</u> 第 20 回内容：<u>小テーマ 2 の実験データをプレゼン、議論する 1</u></p> <p>第 21 回項目：<u>小テーマ 2 の論文作成 3</u> 第 21 回内容：<u>小テーマ 2 の実験データをプレゼン、議論する 2</u></p> <p>第 22 回項目：<u>小テーマ 2 の論文作成 4</u> 第 22 回内容：<u>小テーマ 2 の実験データをプレゼン、議論する 3</u></p> <p>第 23 回項目：<u>小テーマ 2 の論文作成 5</u> 第 23 回内容：<u>特別演習 II によるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する</u></p> <p>第 24 回項目：<u>小テーマ 2 の論文作成 6</u> 第 24 回内容：<u>小テーマ 2 における実験手法の</u></p>	<p>3)</p> <p>第 8 回項目：<u>小テーマ 1 の先行研究</u> 第 8 回内容：<u>小テーマ 1 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 4)</u></p> <p>第 9 回項目：<u>小テーマ 1 の先行研究</u> 第 9 回内容：<u>小テーマ 1 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 5)</u></p> <p>第 10 回項目：<u>小テーマ 1 の概要まとめ</u> 第 10 回内容：<u>これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する</u></p> <p>第 11 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 11 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 1</u></p> <p>第 12 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 12 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 2</u></p> <p>第 13 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 13 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 3</u></p> <p>第 14 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 14 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 1)</u></p> <p>第 15 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 15 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 2)</u></p> <p>第 16 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 16 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 3)</u></p> <p>第 17 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 17 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 4)</u></p> <p>第 18 回項目：<u>小テーマ 2 の先行研究</u> 第 18 回内容：<u>小テーマ 2 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 5)</u></p> <p>第 19 回項目：<u>小テーマ 2 の概要まとめ</u> 第 19 回内容：<u>これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する</u></p> <p>第 20 回項目：<u>小テーマ 3 の先行研究</u> 第 20 回内容：<u>小テーマ 3 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 1</u></p> <p>第 21 回項目：<u>小テーマ 3 の先行研究</u> 第 21 回内容：<u>小テーマ 3 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 2</u></p> <p>第 22 回項目：<u>小テーマ 3 の先行研究</u> 第 22 回内容：<u>小テーマ 3 に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する 3</u></p> <p>第 23 回項目：<u>小テーマ 3 の先行研究</u> 第 23 回内容：<u>小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 1)</u></p> <p>第 24 回項目：<u>小テーマ 3 の先行研究</u> 第 24 回内容：<u>小テーマ 3 に関連し蒐集した複</u></p>
---	--

<p>確認を行う</p> <p>第 25 回項目：小テーマ 2 の論文作成 7 第 25 回内容：小テーマ 2 におけるデータから考察を行う 1</p> <p>第 26 回項目：小テーマ 2 の論文作成 8 第 26 回内容：小テーマ 2 におけるデータから考察を行う 2</p> <p>第 27 回項目：小テーマ 2 まとめ 第 27 回内容：小テーマ 2 のまとめを行う</p> <p>第 28 回項目：まとめ 第 28 回内容：小テーマから原著論文を作成する過程を確認する。</p> <p>第 29 回項目：まとめ 第 29 回内容：小テーマから原著論文を作成する過程を確認する。</p> <p>第 30 回項目：まとめ 第 30 回内容：小テーマから原著論文を作成する過程を確認する</p>	<p>数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 2)</p> <p>第 25 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 25 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 3)</p> <p>第 26 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 26 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 4)</p> <p>第 27 回項目：小テーマ 3 の先行研究 第 27 回内容：小テーマ 3 に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う (パラグラフ 5)</p> <p>第 28 回項目：小テーマ 3 の概要まとめ 第 28 回内容：これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する</p> <p>第 29 回項目：博士論文の構成 第 29 回内容：小テーマ 1～3 を元にした博士論文全体の構成についてプレゼンを行う</p> <p>第 30 回項目：博士論文の構成 第 30 回内容：博士論文全体の構成から大テーマの設定を再確認する</p>
---	--

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅱ」シラバス

新	旧
<p>小林 正利、遠藤 直哉担当</p> <p>講義概要・目的 救急災害医療特別研究Ⅰで立案した研究計画を更に発展させ、予備実験を重ねることで、研究を推進していく能力を習得する事を目標とする。 引き続き実験を行い、データを集積・解析し検証する。目的、方法、結果、図表などを学会または論文にまとめて発表する。</p> <p>履修注意 計画的に予備実験を重ねること。</p> <p>教科書・参考書 必要に応じて掲示する。</p>	<p>小林 正利、遠藤 直哉担当</p> <p>講義概要・目的 救急災害医療特別研究Ⅰで立案した研究計画を更に発展させ、予備実験を重ねることで、研究を推進していく能力を習得する (追記)。 形態学データを集積・解析し検証する。目的、方法、結果、図表などを学会または論文にまとめて発表する。</p> <p>履修注意 (追記)</p> <p>教科書・参考書 特になし。</p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅲ」シラバス

新	旧
<p>平沼 憲治、舟橋 厚、平沼 直人担当</p> <p>講義計画・内容 第 28 回内容：論文発表用のプレゼンテーションを行い、ディスカッションする。</p>	<p>平沼 憲治、舟橋 厚、平沼 直人担当</p> <p>講義計画・内容 第 28 回内容：論文発表用のプレゼンテーションを作成する。</p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅲ」シラバス

新	旧
<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO：特別研究Ⅲはこれまでの特別研究および</p>	<p>小川 理郎、後藤 真吏奈担当</p> <p>講義概要・目標 GIO：英語論文を作成する。</p>

特別演習の総括である。卒業後に臨床現場で見つけたリサーチクエッションを研究テーマとして課題抽出し、科学的根拠に基づき研究できる能力の修得を確認する。具体的には、リサーチクエッションおよび仮説の設定から、研究計画・実施、結果の分析・論文作成・発表を行う。

SB0 :

- ①研究を期間内に遂行できる。
 - ②審査、論文発表会に向け発表内容を精選し、聴衆にわかりやすい発表準備ができる。
- (削除)

講義計画・内容

第1回内容：講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する

第2回項目：実験のリサーチクエッションを設定する

第2回内容：リサーチクエッションを設定し、研究テーマと仮説を設定する

第3回項目：実験計画1

第3回内容：研究テーマを基に実験計画を立てる

第4回項目：実験計画2

第4回内容：研究テーマを基に実験計画を立てる

第5回項目：実験準備1

第5回内容：実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする

第6回項目：実験準備2

第6回内容：実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う

第7回項目：実験1

第7回内容：実験を実施、結果の検証をする

第8回項目：実験2

第8回内容：実験を実施、結果の検証をする

第9回項目：実験3

第9回内容：実験を実施、結果の検証をする

第10回項目：実験4

第10回内容：実験を実施、結果の検証をする

第11回項目：実験5

第11回内容：実験を実施、結果の検証をする

第12回項目：実験6

第12回内容：実験を実施、結果の検証をする

第13回項目：実験7

第13回内容：実験を実施、結果の検証をする

第14回項目：実験8

第14回内容：実験を実施、結果の検証をする

第15回項目：実験結果の中間発表

第15回内容：実験で得られた結果の解析を行い、レポートにまとめる。リサーチクエッションの再設定を行う

第16回項目：実験計画3

第16回内容：中間発表の結果を基に、実験計画を修正する

第17回項目：実験準備3

第17回内容：修正された実験計画で必要とされる実験準備をする

第18回項目：実験9

第18回内容：実験を実施、結果の検証をする

SB0 :

- ①研究計画を立案し実行できる。
- ②結果を解析し根拠に基づき考察できる。
- ③英語論文が作成できる。

講義計画・内容

第1回内容：講義内容、受講上の注意等を説明する。

第2回項目：研究計画の確認

第2回内容：研究計画・行程表を作成する。

第3回項目：実験(追記)1

第3回内容：実験を行いデータ収集する

第4回項目：実験(追記)2

第4回内容：実験を行いデータ収集する

第5回項目：実験(追記)3

第5回内容：実験を行いデータ収集する

第6回項目：実験(追記)4

第6回内容：実験を行いデータ収集する

第7回項目：実験5

第7回内容：実験を行いデータ収集する

第8回項目：実験6

第8回内容：実験を行いデータ収集する

第9回項目：実験7

第9回内容：実験を行いデータ収集する

第10回項目：実験8

第10回内容：実験を行いデータ収集する

第11回項目：実験9

第11回内容：実験を行いデータ収集する

第12回項目：実験10

第12回内容：実験を行いデータ収集する

第13回項目：統計学的検討1

第13回内容：統計学的検討を行う

第14回項目：統計学的検討2

第14回内容：統計学的検討を行う

第15回項目：表・グラフの作成1

第15回内容：表・グラフを作成する

第16回項目：表・グラフの作成2

第16回内容：表・グラフを作成する

第17回項目：考察1

第17回内容：文献を引用しながら結果の考察を行う

第18回項目：考察2

第18回内容：文献を引用しながら結果の考察

<p>第 19 回項目：<u>実験 10</u> 第 19 回内容：<u>実験を実施、結果の検証をする</u></p> <p>第 20 回項目：<u>実験 11</u> 第 20 回内容：<u>実験を実施、結果の検証をする</u></p> <p>第 21 回項目：<u>実験 12</u> 第 21 回内容：<u>実験を実施、結果の検証をする</u></p> <p>第 22 回項目：<u>実験 13</u> 第 22 回内容：<u>実験を実施、結果の検証をする</u></p> <p>第 23 回項目：<u>実験結果の解析</u> 第 23 回内容：<u>実験で得られた結果の解析を行い、レポートにまとめる</u></p> <p>第 24 回項目：<u>論文作成 1</u> 第 24 回内容：<u>実験で得られた結果をもとに、論文を作成する</u></p> <p>第 25 回項目：<u>論文作成 2</u> 第 25 回内容：<u>実験で得られた結果をもとに、論文を作成する</u></p> <p>第 26 回項目：<u>論文作成 3</u> 第 26 回内容：<u>実験で得られた結果をもとに、論文を作成する</u></p> <p>第 27 回項目：<u>研究発表</u> 第 27 回内容：<u>研究発表について検討する</u></p> <p>第 28 回項目：<u>研究発表</u> 第 28 回内容：<u>研究発表について検討する</u></p> <p>第 29 回項目：<u>研究発表</u> 第 29 回内容：<u>研究発表について検討する</u></p> <p>第 30 回項目：<u>研究発表</u> 第 30 回内容：<u>特別研究Ⅲで行ったことをまとめてプレゼンテーションする</u></p>	<p>を行う</p> <p>第 19 回項目：<u>考察 3</u> 第 19 回内容：<u>文献を引用しながら結果の考察を行う</u></p> <p>第 20 回項目：<u>考察 4</u> 第 20 回内容：<u>文献を引用しながら結果の考察を行う</u></p> <p>第 21 回項目：<u>考察 5</u> 第 21 回内容：<u>文献を引用しながら結果の考察を行う</u></p> <p>第 22 回項目：<u>論文作成 1</u> 第 22 回内容：<u>背景・方法・結果・考察・結論をまとめる</u></p> <p>第 23 回項目：<u>論文作成 2</u> 第 23 回内容：<u>背景・方法・結果・考察・結論をまとめる</u></p> <p>第 24 回項目：<u>論文作成 3</u> 第 24 回内容：<u>背景・方法・結果・考察・結論をまとめる</u></p> <p>第 25 回項目：<u>抄録作成</u> 第 25 回内容：<u>抄録を作成する</u></p> <p>第 26 回項目：<u>英語の添削 1</u> 第 26 回内容：<u>英文チェックを行う</u></p> <p>第 27 回項目：<u>英語の添削 2</u> 第 27 回内容：<u>英文チェックを行う</u></p> <p>第 28 回項目：<u>英語の添削 3</u> 第 28 回内容：<u>英文チェックを行う</u></p> <p>第 29 回項目：<u>研究発表 1</u> 第 29 回内容：<u>研究発表を行う</u></p> <p>第 30 回項目：<u>研究発表 2</u> 第 30 回内容：<u>研究発表を行う</u></p>
---	---

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅲ」シラバス

新	旧
<p>山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当</p> <p>講義概要・目標 研究計画に従って実験を行い、データ収集・解析し、結果をまとめて考察するなど、実験を実施してから論文にまとめる能力を習得する。</p> <p>GIO：研究計画に従って実験を行い、結果や考察を論文にまとめる能力を習得する。</p> <p>SBOs： ① 研究計画書が作成できる ② 倫理委員会に申請ができる ③ 実験結果を統計学的に解析できる ④ 投稿規定に沿った論文が作成できる</p> <p>履修注意 プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。</p>	<p>山本 保博、横田 裕行、鈴木 健介担当</p> <p>講義概要・目標 研究計画に従って実験を行い、データ収集・解析し、結果をまとめて考察するなど、実験を実施してから論文にまとめるために必要な研究推進能力を習得する。</p> <p>(追記)</p> <p>履修注意 (追記)</p>

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅲ」シラバス

新	旧
---	---

中里 浩一、鴻崎 香里奈担当

講義概要・目標本講義では自身の博士学位請求論文を作成するために必要な考え方を学ぶ。救急災害医療学特別演習 II および III (以下特別演習 II および特別演習 III) と関連させながら本講義は展開される。本講義の最終的な目標は博士学位請求論文を作成すること。

履修注意

事前に自分自身で原著論文を蒐集し、かつ複数の先行研究から各小テーマに至る理論を組み合わせることを要求される。

講義計画・内容

第1回内容：本講義の進め方や全体像の概説を行う

第2回項目：小テーマ3の論文作成1

第2回内容：小テーマ3の実験データ計画をプレゼン、議論する

第3回項目：小テーマ3の論文作成2

第3回内容：小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する1

第4回項目：小テーマ3の論文作成3

第4回内容：小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する2

第5回項目：小テーマ3の論文作成4

第5回内容：小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する3

第6回項目：小テーマ3の論文作成5

第6回内容：特別演習 II によるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する

第7回項目：小テーマ3の論文作成6

第7回内容：小テーマ3における実験手法の確認を行う

第8回項目：小テーマ3の論文作成7

第8回内容：小テーマ3におけるデータから考察を行う1

第9回項目：小テーマ3の論文作成8

第9回内容：小テーマ3におけるデータから考察を行う2

第10回項目：小テーマ3まとめ

第10回内容：小テーマ3のまとめを行う

第11回項目：General introduction1

第11回内容：General introductionに必要な文献のレビューを行う1

第12回項目：General introduction2

第12回内容：General introductionに必要な文献のレビューを行う2

第13回項目：General introduction3

第13回内容：General introductionに必要な文献のレビューを行う3

第14回項目：General introduction4

中里 浩一、鴻崎 香里奈担当

講義概要・目標

本講義では過去に提出された複数の博士学位請求論文を読み込むことにより、博士学位請求論文を作成するために必要な考え方を学ぶ。精読する博士学位論文は講義担当者が指定するものとするが、生理学、生化学、細胞生物学に関連し過去に講義担当者が関与した学位論文とする。本講義の最終的な目標は博士学位請求論文を作成するために必要な知識と技能を習得することにある。

履修注意

講義担当者が指定した博士学位論文を事前に精読することが要求される。受講者は入念な講義への準備が求められる。

講義計画・内容

第1回内容：(追記)

第2回項目：博士論文1精読1

第2回内容：博士論文1における general introductionの関連論文を紹介する

第3回項目：博士論文1精読2

第3回内容：博士論文1における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を紹介する

第4回項目：博士論文1精読3

第4回内容：博士論文1における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を紹介する

第5回項目：博士論文1精読4

第5回内容：博士論文1における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を紹介する

第6回項目：博士論文1精読5

第6回内容：博士論文1における general discussionの関連論文を紹介する

第7回項目：博士論文1精読6

第7回内容：博士論文1を通読することで博士論文1の論理構成を議論する

第8回項目：博士論文2精読1

第8回内容：博士論文2における general introductionの関連論文を紹介する

第9回項目：博士論文2精読2

第9回内容：博士論文2における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を紹介する

第10回項目：博士論文2精読3

第10回内容：博士論文2における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を紹介する

第11回項目：博士論文2精読4

第11回内容：博士論文2における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を紹介する

第12回項目：博士論文2精読5

第12回内容：博士論文2における general discussionの関連論文を紹介する

第13回項目：博士論文2精読6

第13回内容：博士論文2を通読することで博士論文1の論理構成を議論する

第14回項目：博士論文3精読1

第14回内容： <u>General introduction</u> 全体の構成を検討する1	第14回内容：博士論文3における <u>general introduction</u> の関連論文を紹介する
第15回項目： <u>General introduction</u> 5	第15回項目： <u>博士論文3</u> 精読2
第15回内容： <u>General introduction</u> 全体の構成を検討する2	第15回内容： <u>博士論文3</u> における小テーマ1（各chapter）の関連論文を紹介する
第16回項目： <u>小テーマ1</u>	第16回項目： <u>博士論文3</u> 精読3
第16回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ1の再検討を行う1	第16回内容： <u>博士論文3</u> における小テーマ2（各chapter）の関連論文を紹介する
第17回項目： <u>小テーマ1</u>	第17回項目： <u>博士論文3</u> 精読4
第17回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ1の再検討を行う2	第17回内容： <u>博士論文3</u> における小テーマ3（各chapter）の関連論文を紹介する
第18回項目： <u>小テーマ1</u>	第18回項目： <u>博士論文3</u> 精読5
第18回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ1の再検討を行う3	第18回内容： <u>博士論文3</u> における <u>general discussion</u> の関連論文を紹介する
第19回項目： <u>小テーマ2</u>	第19回項目： <u>博士論文3</u> 精読6
第19回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ2の再検討を行う1	第19回内容： <u>博士論文3</u> を通読することで博士論文1の論理構成を議論する
第20回項目： <u>小テーマ2</u>	第20回項目： <u>博士論文4</u> 精読1
第20回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ2の再検討を行う2	第20回内容： <u>博士論文4</u> における <u>general introduction</u> の関連論文を紹介する
第21回項目： <u>小テーマ2</u>	第21回項目： <u>博士論文4</u> 精読2
第21回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ2の再検討を行う3	第21回内容： <u>博士論文4</u> における小テーマ1（各chapter）の関連論文を紹介する
第22回項目： <u>小テーマ3</u>	第22回項目： <u>博士論文4</u> 精読3
第22回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ3の再検討を行う1	第22回内容： <u>博士論文4</u> における小テーマ2（各chapter）の関連論文を紹介する
第23回項目： <u>小テーマ3</u>	第23回項目： <u>博士論文4</u> 精読4
第23回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ3の再検討を行う2	第23回内容： <u>博士論文4</u> における小テーマ3（各chapter）の関連論文を紹介する
第24回項目： <u>小テーマ3</u>	第24回項目： <u>博士論文4</u> 精読5
第24回内容： <u>学位論文</u> 全体の中での小テーマ3の再検討を行う3	第24回内容： <u>博士論文4</u> における <u>general discussion</u> の関連論文を紹介する
第25回項目： <u>General discussion</u> 1	第25回項目： <u>博士論文4</u> 精読6
第25回内容： <u>General discussion</u> に必要な文献のレビューを行う1	第25回内容： <u>博士論文4</u> を通読することで博士論文1の論理構成を議論する
第26回項目： <u>General discussion</u> 2	第26回項目： <u>博士論文1</u> 再読
第26回内容： <u>General discussion</u> に必要な文献のレビューを行う2	第26回内容： <u>博士論文1</u> の論理構造を再度議論する
第27回項目： <u>General discussion</u> 3	第27回項目： <u>博士論文2</u> 再読
第27回内容： <u>General discussion</u> に必要な文献のレビューを行う3	第27回内容： <u>博士論文2</u> の論理構造を再度議論する
第28回項目： <u>General discussion</u> 4	第28回項目： <u>博士論文3</u> 再読
第28回内容： <u>General discussion</u> 全体の構成を検討する1	第28回内容： <u>博士論文3</u> の論理構造を再度議論する
第29回項目： <u>General discussion</u> 5	第29回項目： <u>博士論文4</u> 再読
第29回内容： <u>General discussion</u> 全体の構成を検討する2	第29回内容： <u>博士論文4</u> の論理構造を再度議論する
第30回内容： <u>学位論文</u> 全体の構成を再確認する。	第30回内容：自分自身の博士学位請求論文に関してその構造を発表、議論する

(新旧対照表) 「救急災害医療学特別研究Ⅲ」シラバス

新	旧
小林 正利、遠藤 直哉担当 講義概要・目標 一連の研究過程を通して、救急災害医療学のうち形態研究に関する博士論文を完成させる。	小林 正利、遠藤 直哉担当 講義概要・目標 一連の研究過程を通して、解剖学・組織学に関する博士論文を完成させる。
講義計画・内容	講義計画・内容

<p>第2回項目：目的の作成1 第3回項目：目的の作成2 第4回項目：目的の作成3 第5回項目：目的の作成4 第5回内容：背景や仮説を述べるため、先行研究と比較引用しながらまとめる。 第6回項目：目的の作成5 第6回内容：背景と目的のお文章をまとめる。 第7回項目：目的の作成6 第7回内容：背景と目的の文章を完成させる。</p> <p>第8回項目：方法の作成1 第8回内容：研究材料についてまとめていく。 第9回項目：方法の作成2 第9回内容：研究材料についてまとめていく。 第10回項目：方法の作成3 第10回内容：研究材料についてまとめていく。 第11回項目：方法の作成4 第11回内容：研究方法についてまとめていく。 第12回項目：方法の作成5 第12回内容：研究方法についてまとめていく。 第13回項目：方法の作成6 第13回内容：研究方法についてまとめていく。 第14回項目：結果の作成1 第14回内容：研究結果についてまとめていく（図表の作成）。 第15回項目：結果の作成2 第15回内容：研究結果についてまとめていく（図表の作成）。 第16回項目：結果の作成3 第16回内容：研究結果についてまとめていく（形態分析）。 第17回項目：結果の作成4 第17回内容：研究結果についてまとめていく（統計分析）。 第18回項目：結果の作成5 第18回内容：研究結果の文章をまとめる。 第19回項目：結果の作成6 第19回内容：研究結果の文章を完成させる。 第20回項目：考察の作成1 第21回項目：考察の作成2 第22回項目：考察の作成3 第23回項目：考察の作成4 第24回項目：考察の作成5 第25回項目：考察の作成6 第26回項目：考察の作成7 第26回内容：先行研究を引用・比較しながら考察をまとめる。 第27回項目：まとめの作成 第29回内容：引用文献を整理・記述する。</p> <p>教科書・参考書 必要に応じて提示する。</p>	<p>第2回項目：目的の作製1 第3回項目：目的の作製2 第4回項目：目的の作製3 第5回項目：目的の作製4 第5回内容：背景や仮説を述べるため、先行研究と比較引用しながら書いていく。 第6回項目：目的の作製5 第6回内容：（追記）目的を完成させる。 第7回項目：目的の作製6 第7回内容：（追記）目的（追記）を完成させる。 第8回項目：方法の作製1 第8回内容：研究材料についてまとめる。 第9回項目：方法の作製2 第9回内容：研究材料についてまとめる。 第10回項目：方法の作製3 第10回内容：研究材料についてまとめる。 第11回項目：方法の作製4 第11回内容：研究方法についてまとめる。 第12回項目：方法の作製5 第12回内容：研究方法についてまとめる。 第13回項目：方法の作製6 第13回内容：研究方法についてまとめる。 第14回項目：結果の作製1 第14回内容：研究結果についてまとめる（追記）。 第15回項目：結果の作製2 第15回内容：研究結果についてまとめる（追記）。 第16回項目：結果の作製3 第16回内容：研究結果についてまとめる（追記）。 第17回項目：結果の作製4 第17回内容：研究結果についてまとめる（追記）。 第18回項目：結果の作製5 第18回内容：研究結果についてまとめる。 第19回項目：結果の作製6 第19回内容：研究結果についてまとめる。 第20回項目：考察の作製1 第21回項目：考察の作製2 第22回項目：考察の作製3 第23回項目：考察の作製4 第24回項目：考察の作製5 第25回項目：考察の作製6 第26回項目：考察の作製7 第26回内容：先行研究を引用・比較しながら考察をまとめていく。 第27回項目：まとめの作製 第29回内容：引用文献を整理（追記）する。</p> <p>教科書・参考書 特になし。</p>
--	---

(是正事項) 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (D) (博士課程)

4. <博士論文の審査体制が不明確>
 博士論文審査の前提条件として、「レフェリー付学会誌等への掲載が許可されている論文を2編以上有する」とあるが、具体的にどのような論文か不明確なため、審査の前提となるレフェリー付学会誌「等」の詳細や位置付けを明確に説明すること。また、論文審査は指導教員の主査と、副査2名以上の3名以上の体制で行うとあるが、指導教員がどのように審査に係わるのかなど、指導教員を主査としても、論文審査の客観性や公平性が十分担保できることを明確にした上で、論文指導体制の妥当性を説明するか、必要に応じて適切に改めること。

(対応)

「レフェリー付学会誌等への掲載が許可されている論文を2編以上有する」では論文の定義が不明確であったため、前提条件を「主論文として impact factor の値がある国際学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文1編以上と、副論文として国内外を問わず査読付きの学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文を1編以上有すること。ただし、上述の主論文及び副論文には、保健医療学研究科委員会においてこれらに準ずると認められたものを含む。」に改めた。

「査読付き学術雑誌」とは、査読制度の確立した学術雑誌で、日本語論文の場合は、医中誌 Web に集録かつ日本学術会議協力学術研究団体に指定された学術団体が発行する学術研究（論文等）を掲載する機関誌（学会誌）とし、英語論文の場合は、Current Contents Connect (Clinical Medicine Edition)、MEDLARS Online のいずれかに集録された欧文誌とする。

「主論文」とは、博士論文で、学位申請者を筆頭著者として共著を認める。

「副論文」とは、学位申請の研究内容に関連があり、単著又は筆頭著者（共著の場合）とし日本語論文又は英語論文とする。いずれの場合も原著論文として査読付き学術誌に掲載されていること、あるいは掲載が確約されていることとする。

論文審査体制については、審査の客観性を担保するため、指導教員は主査とせず、副査として審査に加わることとし、また、他研究領域の教員及び外部の審査員を副査に加え、主査1名副査3名以上の計4名以上の体制とすることで、審査の客観性や公平性を十分に担保する。

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」 11 頁

新	旧
設置の趣旨等を記載した書類 <u>11 頁</u> (6) 博士論文審査の流れ (前提条件) 博士の学位論文の審査を申請できるのは、前項の申請資格を有するとともに、主論文として <u>impact factor の値がある国際学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文1編以上と、副論文として国内外を問わず査読者付き学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文を1編以上有することを条件とする。ただし、上述の主論文及び副論文には、保健医療学研究科委員会においてこれらに準ずると認められたものを含む。</u> <u>「査読付き学術雑誌」とは、査読制度の確立した学術雑誌で、日本語論文の場合は、医中誌 Web に集録かつ日本学術会議協力学術研究団体に指定された学術団体が発行する学術研究（論文等）を掲載する機関誌（学会誌）とし、英語論文の場合は、Current Contents Connect (Clinical Medicine Edition)、MEDLARS Online のいずれかに集録された欧文誌とする。</u> <u>「主論文」とは、博士論文で、学位申請者を筆頭著者として共著を認める。</u> <u>「副論文」とは、学位申請の研究内容に関連があり、単著又は筆頭著者（共著の場合）とし日本語論文又は英語論文とする。いずれ</u>	設置の趣旨等を記載した書類 <u>12 頁</u> (6) 博士論文審査の流れ (前提条件) 博士の学位論文の審査を申請できるのは、前項の申請資格を有するとともに、関係論文としてレフェリー付学会誌等への掲載が許可されている論文を <u>2 編以上有することを条件とする。</u> <u>(追記)</u>

の場合も原著論文として査読付き学術誌に掲載されていること、あるいは掲載が確約されていること。

(論文審査員)

提出された論文について、審査員は主査を1名、副査を3名以上、計4名以上で構成され、審査員の選定は研究科委員会の議を経て、研究科長が委嘱する。

副査には、指導教員、申請者が専修する以外の他研究領域の教員、外部の学識者を加えることで厳格性と透明性を確保する。

(論文審査員)

提出された論文について、審査員は、指導教員を主査とし、副査を2名以上、計3名以上で構成され、審査員の選定は研究科委員会の議を経て、研究科長が委嘱する。

副査には、(追記)申請者が専修する以外の他研究領域の教員を加えることとし、また必要に応じて外部の教員を審査員として加えるなど厳格性と透明性を確保する。

(是正事項) 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (D) (博士課程)

5. <入学者選抜方法の妥当性が不明確>

入学者選抜の方法について、筆記試験では「専門科目」に係る内容の試験を行うが、専門科目の具体的な内容が示されていないため、アドミッション・ポリシーとの整合性も踏まえてどのような内容の試験を行うか明確に説明すること。また、修士課程の救急災害医療学コースの修了者については、筆記試験と面接試験を免除して書類審査のみで選抜するとあるが、本博士課程は修士課程とは別に設置されるとともに、人材養成像も異なる点も踏まえ、アドミッション・ポリシーに照らした能力が十分担保できる選抜方法か疑義があるため、修士課程で修得される能力も示した上で、本選抜方法の妥当性について明確に説明するか、適切に改めること。

(対応)

アドミッション・ポリシー「イ. 救急災害医療学における専門知識・技能・問題解決能力を有する者」に適合する入学者を選抜するための試験として、専門科目の内容を「救急災害医療学」に定める。

また、本博士課程は修士課程とは別に設置され、人材養成像も異なることから、救急災害医療学専攻コースの修了者についても、筆記試験と面接試験を課し、書類審査のみでの選抜は行わないこととする。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 18 頁

新	旧
<p>(4) 入学者選抜の方法 可否の判定は、書類審査、筆記試験（英語、専門科目：<u>救急災害医療学</u>）、面接試験の結果を総合的に判断して行う。</p> <p>①一般選抜 ・書類審査（履歴書、学業成績証明書、研究計画書など） ・筆記試験（英語、専門科目：<u>救急災害医療学</u>） ・面接試験（口頭試問含む）</p> <p>②社会人（現職教員等有職者）選抜 ・書類審査（履歴書、学業成績証明書、研究計画書、研究活動調書など） ・筆記試験（英語、専門科目：<u>救急災害医療学</u>） ・面接試験（口頭試問含む）</p>	<p>(4) 入学者選抜の方法 可否の判定は、書類審査、筆記試験（英語、専門科目：<u>追記</u>）、面接試験の結果を総合的に判断して行う。</p> <p>①一般選抜 ・書類審査（履歴書、学業成績証明書、研究計画書など） ・筆記試験（英語、専門科目：<u>追記</u>） ・面接試験（口頭試問含む）</p> <p>②社会人（現職教員等有職者）選抜 ・書類審査（履歴書、学業成績証明書、研究計画書、研究活動調書など） ・筆記試験（英語、専門科目：<u>追記</u>） ・面接試験（口頭試問含む）</p>

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 18 頁

新	旧
<p>(4) 入学者選抜の方法 本専攻(博士課程)が目指す教育研究に相応しい能力・適性等を多面的に判定し、一般選抜及び社会人選抜を実施する。 可否の判定は、書類審査、筆記試験（英語、専門科目）、面接試験の結果を総合的に判断して行う。 <u>(削除)</u></p>	<p>(4) 入学者選抜の方法 本専攻(博士課程)が目指す教育研究に相応しい能力・適性等を多面的に判定し、一般選抜及び社会人選抜を実施する。 可否の判定は、書類審査、筆記試験（英語、専門科目）、面接試験の結果を総合的に判断して行う。 <u>ただし、本学保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）救急災害医療学コース修了者は、筆記試験（英語、専門科目）、面接試験を免除し、書類審査のみで選抜する。</u></p>

(改善事項) 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (D) (博士課程)

6. <設置計画の一層の充実>

教員の年齢構成が比較的高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など教員組織編制の将来構想の明確化が望まれるので、対応方針について回答すること。

(対応)

教員組織編制の将来構想として、本専攻の完成年度で任期を迎える教授の後任については、公募を基本とし、欠員が生じることのないよう確実に充足していくこととする。

完成年度には救急災害医療学分野2名、スポーツ救急分野1名の計3名の教授が任期を迎え、完成年度後に在籍する専任教員の年齢構成は60歳代2名、50歳代3名、40歳代2名、30歳代2名となる。充足する教員は、救急災害医療学分野で40歳代1名・50歳代1名を、スポーツ救急分野で50歳代1名を予定している。

その後も、専攻の教育と研究の水準を維持するため、当該教員が担当する科目で欠員が生じた場合、相応の教育研究能力を有する人材を補充する。具体的には以下のような人事計画で行っていく。

ア. 既存の教員が職位昇進の場合はその者を後継者に充て、新たに若手教員を採用し将来の後継者候補とする。

イ. 既存の教員に該当者がいない場合、直ちにその後継者となる教授あるいは准教授を採用し、その補充を行う。

上述の人事計画の基で、長期的に継続した教育体制を構築できるよう、年齢構成バランスのとれた教員組織を編制していく。

(新旧対照表) 「設置の趣旨等を記載した書類」 10 頁

新	旧
<p>(2) 教員の年齢構成</p> <p>救急災害医療学専攻の専任教員は、30～39歳2名、40～49歳3名、50～59歳2名、60～64歳3名、65～69歳2名の教授・准教授・助教、計12名で構成している。年齢構成は高いが、本研究科の目標を達成するため、保健医療分野の教育研究指導経験が豊富で、授業及び研究指導を行うに相応しい教育経験、教育実績及び実務経験を有する各専門分野の教員を配置した。</p> <p><u>教員組織編制の将来構想として、本専攻の完成年度で任期を迎える教授の後任については、公募を基本とし、欠員が生じることのないよう確実に充足していくこととする。</u></p> <p><u>完成年度には救急災害医療学分野2名、スポーツ救急分野1名の計3名の教授が任期を迎え、完成年度後に在籍する専任教員の年齢構成は60歳代2名、50歳代3名、40歳代2名、30歳代2名となる。充足する教員は、救急災害医療学分野で40歳代1名・50歳代1名を、スポーツ救急分野で50歳代1名を予定している。</u></p> <p><u>その後も、長期的に継続した教育体制を構築できるよう、可能な限り若い世代を採用し、年齢構成バランスのとれた教員組織を編制していく。</u></p>	<p>(2) 教員の年齢構成</p> <p>救急災害医療学専攻の専任教員は、30～39歳2名、40～49歳3名、50～59歳2名、60～64歳3名、65～69歳2名の教授・准教授・助教、計12名で構成している。年齢構成は高いが、本研究科の目標を達成するため、保健医療分野の教育研究指導経験が豊富で、授業及び研究指導を行うに相応しい教育経験、教育実績及び実務経験を有する各専門分野の教員を配置した。</p> <p><u>(追記)</u></p>

(是正事項) 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (D) (博士課程)

7. <専攻の英語名称が不適切>

専攻の英語名称について、設置の趣旨で説明されている本学の救急・災害医療対応システム (EDMS) の内容にも照らして、「Emergency Disaster Medicine」とあるのは、例えば「Emergency and Disaster Medicine」とすることが適当と考えられるため、適切に改めること。

(対応)

専攻の英語名称及び学位の英語名称を以下のとおり改めた。

(新旧対照表) 基本計画書 1 頁「新設学部等の概要」

新	旧
救急災害医療学専攻 (博士課程) [Doctoral Program in Emergency <u>and</u> Disaster Medicine]	救急災害医療学専攻 (博士課程) [Doctoral Program in Emergency (追記) Disaster Medicine]
博士 (救急災害医療学) 【Doctor of Philosophy in Emergency <u>and</u> Disaster Medicine】	博士 (救急災害医療学) 【Doctor of Philosophy in Emergency (追記) Disaster Medicine】

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 7 頁

新	旧
3 研究科、専攻等の名称及び学位の名称 (1)研究科、専攻等の名称 本研究科、専攻の名称は以下の通りとする。 ①保健医療学研究科 Graduate School of Medical and Health Science ②救急災害医療学専攻 Doctoral Program in Emergency <u>and</u> Disaster Medicine (2)学位の名称 学位の名称は以下の通りとする。 博士 (救急災害医療学) (Doctor of Philosophy in Emergency <u>and</u> Disaster Medicine)	3 研究科、専攻等の名称及び学位の名称 (1)研究科、専攻等の名称 本研究科、専攻の名称は以下の通りとする。 ①保健医療学研究科 Graduate School of Medical and Health Science ②救急災害医療学専攻 Doctoral Program in Emergency (追記) Disaster Medicine (2)学位の名称 学位の名称は以下の通りとする。 博士 (救急災害医療学) (Doctor of Philosophy in Emergency (追記) Disaster Medicine)